

千葉県立保健医療大学履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第34条第2項及び第36条第2項の規定により、学則別表第1に定める授業科目の履修方法及び単位の認定方法その他必要な事項に関し定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 授業科目の区分、配当年次、単位数と必修等の別、授業形態、時間数、先修条件、履修方法、進級要件及び卒業要件（以下「授業科目等」という。）は別表のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、編入学した者の授業科目等は別に定める。

(履修登録)

第3条 学生は、各学期当初の学長が定める期日までに、学長が定める方法により、履修しようとする授業科目の登録を完了しなければならない。

2 学生は、次の授業科目の履修を登録することができない。

- (1) 時間割上、時限が重複している科目
- (2) 時間割上、別の時限でも複数開講している同一の科目
- (3) 既に単位を修得している科目

3 1年間に履修登録できる単位数の上限は44単位とする。ただし、4年次を除く。

なお、栄養学科教職（栄養教諭一種）課程における栄養教諭に関する科目は上限に加えない。

4 期日までに履修登録しなかった場合は単位を修得することができない。

(在籍する学科等以外の授業科目の履修)

第4条 学生は、担当教員が承諾した場合に限り、在籍する学科若しくは専攻の課程以外の授業科目（以下「他学科等授業科目」という。）の履修を申請することができ、学長がこれを許可したときは、当該他学科等授業科目の履修を登録することができる。

2 前項の申請は、別表における講義科目のみを対象とし、演習及び実験・実習科目は対象としない。ただし、担当教員が特に認めた場合はこの限りではない。

3 前2項の規定により履修を登録した他学科等授業科目は、修得した単位を卒業要件となる単位数に算入しない。

4 学生は、本条第1項及び第2項の規定により申請しようとするときは、学長が定める期日までに、担当教員の承諾を得て、他学科等授業科目履修申請書（様式第1号）を学長に提出しなければならない。

(授業の欠席)

第5条 学生は、やむを得ず履修登録した授業を欠席する場合には、欠席届（様式第2号）を担当教員に提出することができる。

2 成績の評価における前項の届出の取扱いは、すべて担当教員の判断によるものとする。

(成績評価及び単位認定等)

第6条 授業科目の成績は、試験結果及び学習態度等を総合的に判断して判定する。

2 成績の評価基準は、次表のとおりとし、合格のS、A、B及びCに限り単位を認定し、授与

する。

評価	評 点	判 定
S	90 点以上	合 格
A	80 点以上 90 点未満	
B	70 点以上 80 点未満	
C	60 点以上 70 点未満	
D	60 点未満	不 合 格

3 不合格となった授業科目は、再履修することができる。

(試験)

第7条 試験は、当該授業の開講時期の末に期間を定めて行う。

2 前項の規定にかかわらず、当該授業の担当教員は、必要に応じて随時試験を行うことができる。

3 試験は、筆記、口述、レポート提出、実技及び実習等の方法により行う。

4 次の各号のいずれかに該当する学生は、試験を受けることができない。

- (1) 履修登録をしていない者
- (2) 講義及び演習科目の出席時間数が、当該授業時間数の3分の2に満たない者
- (3) 実験及び実習科目の出席時間数が、当該授業時間数の5分の4に満たない者
- (4) 試験開始時刻に30分以上遅刻した者

5 前項第2号及び第3号の規定にかかわらず、当該授業の担当教員が認めた場合は、学生は試験を受けることができる。

(追試験)

第8条 学生は、病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかつたときは追試験を願い出、これが認められた場合、1回に限り追試験を受けることができる。

2 前項の規定により追試験を願い出ようとする学生は、原則として当該試験日から起算して1週間以内に追試験願(様式第3号)に病気の場合にあっては医師の診断書、その他の場合にあっては理由書を添えて、学長に提出しなければならない。

(再試験)

第9条 前2条の試験の不合格者(試験の欠席者を含む)に対し、担当教員が必要と判断した場合には、当該授業科目の再試験を1回に限り行うことができる。

2 第6条第2項の規定にかかわらず、再試験の合格者はすべて、成績評価をC、評点を60点とする。

(不正行為)

第10条 試験において不正行為を行った学生は、その時間以降にその学期に実施する試験すべての受験資格を失う。

(補則)

第11条 この規定に定めるもののほか、GPA制度、授業科目の履修方法及び単位の認定方法等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和5年4月1日から施行する。

別表 (看護学科 2021年度以降 入学生用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
特色科目	体験ゼミナール	特色1	1前	1					○	必修3単位
	千葉県の健康づくり	特色2	2後	1				○		
	専門職間の連携活動論	特色3	4後	1				○		
	社会実習 (ボランティア活動)	特色4	2・3・4			1			○	
一般教養科目	人間理解群	心理学	一般1	1・2・3・4前		2		○		選択 4単位 (※1)
		哲学	一般2	1・2・3・4前		2		○		
		文学	一般3	1・2・3・4前		2		○		
		歴史と文化	一般4	1・2・3・4前		2		○		
		生命倫理	一般5	1・2・3・4後		2		○		
		宗教学	一般6	1・2・3・4後		2		○		
		教育学	一般7	1・2・3・4後		2		○		
		人間関係論	一般8	1・2・3・4前		2		○		
		コミュニケーション理論と実際	一般9	1・2・3・4前		2		○		
		健康スポーツ科学	一般10	1・2・3・4前後		1			○	
		生涯身体運動科学	一般11	1・2・3・4前後		1			○	
	生活と環境群	生活とデザイン	一般12	1・2・3・4後		2		○		選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)	一般13	1・2・3・4前		2		○		
		社会学	一般14	1・2・3・4後		2		○		
		文化人類学	一般15	1・2・3・4前		2		○		
		経済学	一般16	1・2・3・4前		2		○		
		国際関係論	一般17	1・2・3・4後		2		○		
		社会福祉学	一般18	1・2・3・4前		1		○		
		国際的な健康課題	一般19	1・2・3・4後		1		○		
		人権・ジェンダー	一般20	1・2・3・4後		2		○		
		科学論	一般21	1・2・3・4前		2		○		
		環境変化と生態	一般22	1・2・3・4後		2		○		
		観察生物学入門	一般23	1・2・3・4前後		2		○		
		生物学	一般24	1・2・3・4前後		2		○		
		物理学	一般25	1・2・3・4前		2		○		
		化学	一般26	1・2・3・4前		2		○		
	情報理解群	統計学	一般27	1後	1				○	必修 2単位
		情報リテラシーⅠ	一般28	1前	1				○	
		情報リテラシーⅡ	一般29	1・2・3・4後		1			○	
		情報倫理	一般30	1・2・3・4後		1		○		
		実践統計学	一般31	2・3・4前		1		○		
	外国語群	英語Ⅰ (講読)	一般32	1・2・3・4前		1			○	必修 2単位 + 選択 2単位
		英語Ⅱ (英会話)	一般33	1・2・3・4前		1			○	
		英語Ⅲ (講読・記述)	一般34	1・2・3・4後		1			○	
		英語Ⅳ (英語コミュニケーション)	一般35	1・2・3・4後		1			○	
		英語Ⅴ (保健医療英語)	一般36	2後		2		○		
		英語Ⅵ (応用英語)	一般37	1・2・3・4後		1			○	
		英語Ⅶ (上級英語) A	一般38	2・3・4後		1		○		
	英語Ⅶ (上級英語) B	一般39	2・3・4後		1		○			

【一般教養科目】選択科目から選択8単位

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

別表 (看護学科 2021年度以降 入学生用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	保健1	2前		1		○		
		生化学総論	保健2	2前	1			○		
		栄養学I (基礎)	保健3	1後	1			○		
		栄養学II (応用)	保健4	1後		1		○		
		心の健康	保健5	1・2・3・4後			1	○		
		薬理学I (総論)	保健6	1後	1			○		
		薬理学II (各論)	保健7	1後	1			○		
		病理学I (総論)	保健8	1前	1			○		
		病理学II (各論)	保健9	1前	1			○		
		微生物学I (総論)	保健10	1前	1			○		
		微生物学II (各論)	保健11	1前	1			○		
		発達心理学	保健12	2前		1		○		
		臨床心理学	保健13	1後		1			○	
	健康と保健医療システム	健康論	保健14	1前		1		○		
		公衆衛生学I (基礎)	保健15	1前	1			○		
		公衆衛生学II (応用)	保健16	2後	1			○		
		疫学・保健統計I (基礎)	保健17	3前	1			○		
		疫学・保健統計II (応用)	保健18	3前	1			○		
		リハビリテーション概論	保健19	2後		1		○		
		救命・救急の理論と実際	保健20	2前	1			○		
		画像診断学	保健21	2後		1		○		
		保健医療福祉論I (基礎)	保健22	2後	1			○		
		保健医療福祉論II (応用)	保健23	2後	1			○		
		食育論I (基礎)	保健24	3前		1		○		
		食育論II (応用)	保健25	3前		1		○		
		健康と運動	保健26	1後		1		○		
		家族社会学	保健27	1前		1		○		
		医療経営管理論	保健28	3前		1		○		
		リスクマネジメント論	保健29	2後		1		○		
専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能I (総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系)	看1	1前	1			○		
		人体の構造と機能II (循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系)	看2	1前	1			○		
		人体の構造と機能III (造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系)	看3	1後	1			○		
		病態学I (内科系疾病論)	看4	2前	2			○		
		病態学II (外科系疾病論)	看5	2前	2			○		
		病態学III (高齢者・精神疾病論)	看6	2前	1			○		
		臨床検査論	看7	2前	1			○		
	基礎看護科目	看護学入門	看8	1前	1			○		
		看護学原論	看9	1前	1				○	
		看護倫理	看10	2後	1			○		
		看護技術論I (生活援助技術)	看11	1後	2				○	
		看護技術論II (フィジカルアセスメント技術)	看12	1後	1				○	

必修16単位
+
選択3単位【専門科目】
必修77単位
+
選択3単位

別表 (看護学科 2021年度以降 入学生用)

専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ (検査治療技術)	看13	2前	2			○	
		看護技術論Ⅳ (看護過程展開技術)	看14	2後	1			○	
		看護技術論Ⅴ (統合技術演習)	看15	2後	1			○	
		日常生活調整方法論	看16	2前		1		○	
		看護学入門実習	看17	1前	2				○
		基礎看護学実習	看18	2前	2				○
		医療生活支援	臨床看護学概論	看19	2後	1			○
	臨床看護学方法論Ⅰ (急性期・がん)		看20	3前	2			○	
	臨床看護学方法論Ⅱ (慢性期・終末期)		看21	3前	2			○	
	臨床看護学方法論Ⅲ (臨床看護技術演習)		看22	3後・4前	1			○	
	ターミナルケア論		看23	3前		1		○	
	急性期看護学実習		看25	3後・4前	2				○
	慢性期看護学実習		看27	3後・4前	3				○
	療養生活支援	精神看護学概論	看28	1後	1			○	
		高齢者・在宅看護学概論	看29	1後	1			○	
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	看30	2後	1			○	
		高齢者看護学方法論Ⅱ	看31	3前	1			○	
		在宅看護学方法論Ⅱ	看32	3前	1			○	
		精神看護学方法論Ⅰ	看33	2後	1			○	
		精神看護学方法論Ⅱ	看34	3前	1			○	
退院支援論		看35	3前		1		○		
高齢者看護学実習		看36	3後・4前	3				○	
在宅看護学実習		看37	3後・4前	1				○	
精神看護学実習	看38	3後・4前	2				○		
健康生活支援	地域看護学概論	看39	2前	2			○		
	地域看護学方法論Ⅰ	看40	2後	1			○		
	地域看護学方法論Ⅱ	看41	3前	2			○		
	地域看護学方法論Ⅲ	看42	3前	1			○		
	地域看護学実習	看43	3後・4前	3				○	
	看護政策論	看62	4後	1			○		
育成支援	育成期看護概論	看44	2前	1			○		
	小児看護学方法論Ⅰ	看45	2後	1			○		
	小児看護学方法論Ⅱ	看46	3前	1			○		
	小児地域ケア論	看47	3前		1		○		
	母性看護学方法論Ⅰ	看48	2後	1			○		
	母性看護学方法論Ⅱ	看49	3前	1			○		
	母性看護学実習	看50	3後・4前	2				○	
	小児看護学実習	看51	3後・4前	2				○	
	助産学概論	看52	3前		1		○		
	助産診断・技術学Ⅰ	看53	3前		1		○		
	助産診断・技術学Ⅱ	—	4前		2		○		
	助産診断・技術学Ⅲ	—	4通		3		○		

【専門科目】
(再掲)
必修7.7単位
+
選択3単位

別表 (看護学科 2021年度以降 入学生用)

専門科目	実践看護科目	育成支援	助産診断・技術学Ⅳ	—	4後		2			○		【専門科目】 (再掲) 必修77単位 + 選択3単位
			助産学実習Ⅰ (産婦ケア体験)	看57	3後		1				○	
			助産学実習Ⅱ (継続支援)	看58	4通		2				○	
			助産学実習Ⅲ (産婦ケア)	—	4通		3				○	
	発展看護科目	看護管理論	—	4前	1				○			
		災害看護学	看63	3前	1				○			
		看護キャリア発達論	看64	2後	1				○			
		看護管理実習	—	4前	1							
		総合実習	—	4通	3						○	
		看護研究	看67	4通	2					○		
		看護学統合	看68	4後	1					○		
		リーダーシップ論	看69	2前	1					○		
		国際看護論	看72	2前		1				○		
		家族看護論	看73	2後		1				○		

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習 (ボランティア活動)」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅷ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2単位を修得済みであること。

別表（看護学科 2021年度以降 入学生用）

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に配当された専門科目のうち、専門基礎科目、基礎看護科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	4単位	20単位	24単位
保健医療基礎科目	16単位	3単位	19単位
専門科目	77単位	3単位	80単位
合計	100単位	26単位	126単位

○ 助産課程に関する特記事項

助産課程選択の場合は、「助産学概論」及び「助産診断・技術学Ⅰ」の計2単位を選択必修とするほか、別途、「助産診断・技術学Ⅱ」、「助産診断・技術学Ⅲ」、「助産診断・技術学Ⅳ」及び、「助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）」、「助産学実習Ⅱ（継続支援）」、「助産学実習Ⅲ（産婦ケア）」の計13単位が必要である。

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計8単位が必要である。

○ 総合実習と看護学統合に関する特記事項

「総合実習」と「看護学統合」の履修は、卒業に必要な単位の修得が見込まれている必要がある。

別表 (看護学科 2019・2020年度 入学生用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
特色科目	体験ゼミナール	特色1	1前	1					○	必修3単位
	千葉県の健康づくり	特色2	2後	1				○		
	専門職間の連携活動論	特色3	4後	1				○		
	社会実習 (ボランティア活動)	特色4	2・3・4			1			○	
一般教養科目	人間理解群	心理学	一般1	1・2・3・4前		2		○		選択 4単位 (※1)
		哲学	一般2	1・2・3・4前		2		○		
		文学	一般3	1・2・3・4前		2		○		
		歴史と文化	一般4	1・2・3・4前		2		○		
		生命倫理	一般5	1・2・3・4後		2		○		
		宗教学	一般6	1・2・3・4後		2		○		
		教育学	一般7	1・2・3・4後		2		○		
		人間関係論	一般8	1・2・3・4前		2		○		
		コミュニケーション理論と実際	一般9	1・2・3・4前		2		○		
		健康スポーツ科学	一般10	1・2・3・4前後		1			○	
		生涯身体運動科学	一般11	1・2・3・4前後		1			○	
	生活と環境群	生活とデザイン	一般12	1・2・3・4後		2		○		選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)	一般13	1・2・3・4前		2		○		
		社会学	一般14	1・2・3・4後		2		○		
		文化人類学	一般15	1・2・3・4前		2		○		
		経済学	一般16	1・2・3・4前		2		○		
		国際関係論	一般17	1・2・3・4後		2		○		
		社会福祉学	一般18	1・2・3・4前		1		○		
		国際的な健康課題	一般19	1・2・3・4後		1		○		
		人権・ジェンダー	一般20	1・2・3・4後		2		○		
		科学論	一般21	1・2・3・4前		2		○		
		環境変化と生態	一般22	1・2・3・4後		2		○		
		観察生物学入門	一般23	1・2・3・4前後		2		○		
		生物学	一般24	1・2・3・4前後		2		○		
		物理学	一般25	1・2・3・4前		2		○		
		化学	一般26	1・2・3・4前		2		○		
	情報理解群	統計学	一般27	1後	1				○	必修 2単位
		情報リテラシー I	一般28	1前	1				○	
		情報リテラシー II	一般29	1・2・3・4後		1			○	
		情報倫理	一般30	1・2・3・4後		1		○		
		実践統計学	一般31	2・3・4前		1		○		
	外国語群	英語 I (講読)	一般32	1・2・3・4前		1			○	必修 2単位 + 選択 2単位
		英語 II (英会話)	一般33	1・2・3・4前		1			○	
		英語 III (講読・記述)	一般34	1・2・3・4後		1			○	
		英語 IV (英語コミュニケーション)	一般35	1・2・3・4後		1			○	
		英語 V (保健医療英語)	一般36	2後		2		○		
		英語 VI (応用英語)	一般37	1・2・3・4後		1			○	
		英語 VII (上級英語) A	一般38	2・3・4後		1		○		
		英語 VII (上級英語) B	一般39	2・3・4後		1		○		

【一般教養科目】選択科目から選択8単位

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

別表（看護学科 2019・2020年度 入学生用）

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	保健1	2前		1		○		
		生化学総論	保健2	2前	1			○		
		栄養学Ⅰ（基礎）	保健3	1後	1			○		
		栄養学Ⅱ（応用）	保健4	1後		1		○		
		心の健康	保健5	1・2・3・4後			1	○		
		薬理学Ⅰ（総論）	保健6	1後	1			○		
		薬理学Ⅱ（各論）	保健7	1後	1			○		
		病理学Ⅰ（総論）	保健8	1前	1			○		
		病理学Ⅱ（各論）	保健9	1前	1			○		
		微生物学Ⅰ（総論）	保健10	1前	1			○		
		微生物学Ⅱ（各論）	保健11	1前	1			○		
		発達心理学	保健12	2前		1		○		
		臨床心理学	保健13	1後		1			○	
	健康と保健医療システム	健康論	保健14	1前		1		○		
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	保健15	1前	1			○		
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	保健16	2後	1			○		
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	保健17	3前	1			○		
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	保健18	3前	1			○		
		リハビリテーション概論	保健19	2後		1		○		
		救命・救急の理論と実際	保健20	2前	1			○		
		画像診断学	保健21	2後		1		○		
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	保健22	2後	1			○		
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	保健23	2後	1			○		
		食育論Ⅰ（基礎）	保健24	3前		1		○		
		食育論Ⅱ（応用）	保健25	3前		1		○		
		健康と運動	保健26	1後		1		○		
		家族社会学	保健27	1前		1		○		
		医療経営管理論	保健28	3前		1		○		
		リスクマネジメント論	保健29	2後	1			○		
専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ（総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系）	看1	1前	1			○		
		人体の構造と機能Ⅱ（循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系）	看2	1前	1			○		
		人体の構造と機能Ⅲ（造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系）	看3	1後	1			○		
		病態学Ⅰ（内科系疾病論）	看4	2前	2			○		
		病態学Ⅱ（外科系疾病論）	看5	2前	2			○		
		病態学Ⅲ（高齢者・精神疾病論）	看6	2前	1			○		
		臨床検査論	看7	2前	1			○		
	基礎看護科目	看護学入門	看8	1前	1			○		
		看護学原論	看9	1前	1				○	
		看護倫理	看10	2後	1			○		
		看護技術論Ⅰ（生活援助技術）	看11	1後	2				○	
		看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント技術）	看12	1後	1				○	

必修16単位
+
選択4単位

【専門科目】
必修76単位
+
選択3単位

別表 (看護学科 2019・2020年度 入学生用)

専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ (検査治療技術)	看 13	2 前	2			○		
		看護技術論Ⅳ (看護過程展開技術)	看 14	2 後	1			○		
		看護技術論Ⅴ (統合技術演習)	看 15	2 後	1			○		
		日常生活調整方法論	看 16	2 前		1		○		
		看護学入門実習	看 17	1 前	2					○
		基礎看護学実習	看 18	2 前	2					○
	医療生活支援	臨床看護学概論	看 19	2 後	1			○		
		臨床看護学方法論Ⅰ (急性期・がん)	看 20	3 前	2			○		
		臨床看護学方法論Ⅱ (慢性期・終末期)	看 21	3 前	2			○		
		臨床看護学方法論Ⅲ (臨床看護技術演習)	看 22	3 後・4 前	1				○	
		ターミナルケア論	看 23	3 前		1		○		
		急性期看護学実習	看 25	3 後・4 前	2					○
		慢性期看護学実習	看 27	3 後・4 前	3					○
	療養生活支援	精神看護学概論	看 28	1 後	1			○		
		高齢者・在宅看護学概論	看 29	1 後	1			○		
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	看 30	2 後	1				○	
		高齢者看護学方法論Ⅱ	看 31	3 前	1				○	
		在宅看護学方法論Ⅱ	看 32	3 前	1				○	
		精神看護学方法論Ⅰ	看 33	2 後	1				○	
		精神看護学方法論Ⅱ	看 34	3 前	1				○	
		退院支援論	看 35	3 前		1		○		
		高齢者看護学実習	看 36	3 後・4 前	3					○
		在宅看護学実習	看 37	3 後・4 前	1					○
	精神看護学実習	看 38	3 後・4 前	2					○	
	健康生活支援	地域看護学概論	看 39	2 前	2			○		
		地域看護学方法論Ⅰ	看 40	2 後	1			○		
		地域看護学方法論Ⅱ	看 41	3 前	2			○		
		地域看護学方法論Ⅲ	看 42	3 前	1				○	
		地域看護学実習	看 43	3 後・4 前	3					○
		看護政策論	看 62	4 後		1		○		
	育成支援	育成期看護概論	看 44	2 前	1			○		
		小児看護学方法論Ⅰ	看 45	2 後	1				○	
		小児看護学方法論Ⅱ	看 46	3 前	1				○	
		小児地域ケア論	看 47	3 前		1		○		
		母性看護学方法論Ⅰ	看 48	2 後	1				○	
		母性看護学方法論Ⅱ	看 49	3 前	1				○	
		母性看護学実習	看 50	3 後・4 前	2					○
		小児看護学実習	看 51	3 後・4 前	2					○
助産学概論		看 52	3 前		1		○			
助産診断・技術学Ⅰ		看 53	3 前		1		○			
助産診断・技術学Ⅱ		—	4 前		2			○		
助産診断・技術学Ⅲ		—	4 通		2			○		
助産診断・技術学Ⅳ		—	4 後		2			○		
助産学実習Ⅰ (産婦ケア体験)		看 57	3 後		1				○	
助産学実習Ⅱ (継続支援)		看 58	4 通		2				○	
助産学実習Ⅲ (産婦ケア)	—	4 通		3				○		

【専門科目】
(再掲)
必修 76 単位
+
選択 3 単位

別表 (看護学科 2019・2020年度 入学生用)

発展看護科目	看護管理論	—	4前	1		○		
	災害看護学	看63	3前	1		○		
	看護キャリア発達論	看64	2後	1		○		
	看護管理実習	—	4前	1				
	総合実習	—	4通	3				○
	看護研究	看67	4通	2			○	
	看護学統合	看68	4後	1			○	
	リーダーシップ論	看69	2前	1			○	
	国際看護論	看72	2前		1		○	
	家族看護論	看73	2後		1		○	

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習 (ボランティア活動)」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語VII(上級英語)A」「英語VII(上級英語)B」を履修するには「英語I、II、III、IV、またはVI」の選択2単位を修得済みであること。

別表（看護学科 2019・2020年度 入学生用）

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に配当された専門科目のうち、専門基礎科目、基礎看護科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	4単位	20単位	24単位
保健医療基礎科目	16単位	4単位	20単位
専門科目	76単位	3単位	79単位
合計	99単位	27単位	126単位

○ 助産課程に関する特記事項

助産課程選択の場合は、「助産学概論」及び「助産診断・技術学Ⅰ」の計2単位を選択必修とするほか、別途、「助産診断・技術学Ⅱ」、「助産診断・技術学Ⅲ」、「助産診断・技術学Ⅳ」及び、「助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）」、「助産学実習Ⅱ（継続支援）」、「助産学実習Ⅲ（産婦ケア）」の計12単位が必要である。

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計8単位が必要である。

○ 総合実習と看護学統合に関する特記事項

「総合実習」と「看護学統合」の履修は、卒業に必要な単位の修得が見込まれている必要がある。

(看護学科 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
特色科目	体験ゼミナール	特色1	1前	1					○	必修3単位
	千葉県健康づくり	特色2	2後	1				○		
	専門職間の連携活動論	特色3	4後	1				○		
一般教養科目	人間理解群	心理学	一般1	1・2・3・4前		2		○		選択 4単位 (※1)
		哲学	一般2	1・2・3・4前		2		○		
		文学	一般3	1・2・3・4前		2		○		
		歴史と文化	一般4	1・2・3・4前		2		○		
		生命倫理	一般5	1・2・3・4後		2		○		
		宗教学	一般6	1・2・3・4後		2		○		
		教育学	一般7	1・2・3・4後		2		○		
		人間関係論	一般8	1・2・3・4前		2		○		
		コミュニケーション理論と実際	一般9	1・2・3・4前		2		○		
		健康スポーツ科学	一般10	1・2・3・4前後		1			○	
		生涯身体運動科学	一般11	1・2・3・4前後		1			○	
	生活と環境群	生活とデザイン	一般12	1・2・3・4後		2		○		選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)	一般13	1・2・3・4前		2		○		
		社会学	一般14	1・2・3・4後		2		○		
		文化人類学	一般15	1・2・3・4前		2		○		
		経済学	一般16	1・2・3・4前		2		○		
		国際関係論	一般17	1・2・3・4後		2		○		
		社会福祉学	一般18	1・2・3・4前		1		○		
		国際的な健康課題	一般19	1・2・3・4後		1		○		
		人権・ジェンダー	一般20	1・2・3・4後		2		○		
		科学論	一般21	1・2・3・4前		2		○		
		環境変化と生態	一般22	1・2・3・4後		2		○		
		観察生物学入門	一般23	1・2・3・4前後		2		○		
		生物学	一般24	1・2・3・4前後		2		○		
		物理学	一般25	1・2・3・4前		2		○		
		化学	一般26	1・2・3・4前		2		○		
	情報理解群	統計学	一般27	2後	1				○	必修 2単位
		情報リテラシーI	一般28	1前	1				○	
		情報リテラシーII	一般29	1・2・3・4後		1			○	
		情報倫理	一般30	1・2・3・4後		1		○		
	外国語群	英語I(基礎講読)	—	1・2・3・4前		1			○	必修 2単位 + 選択 2単位
		英語II(基礎英会話)	—	1・2・3・4前		1			○	
		英語III(講読・記述)	一般34	1・2・3・4後		1			○	
		英語IV(英会話)	—	1・2・3・4後		1			○	
		英語V(保健医療英語)	一般36	2後		2		○		
		英語VI(応用英語)	一般37	1・2・3・4後		1			○	

【一般教養科目】選択科目から選択8単位

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

(看護学科 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	保健1	2前		1		○		必修16単位 + 選択4単位
		生化学総論	保健2	2前	1			○		
		栄養学Ⅰ(基礎)	保健3	1後	1			○		
		栄養学Ⅱ(応用)	保健4	1後		1		○		
		心の健康	保健5	1・2・3・4前			1	○		
		薬理学Ⅰ(総論)	保健6	1後	1			○		
		薬理学Ⅱ(各論)	保健7	1後	1			○		
		病理学Ⅰ(総論)	保健8	1前	1			○		
		病理学Ⅱ(各論)	保健9	1前	1			○		
		微生物学Ⅰ(総論)	保健10	1前	1			○		
		微生物学Ⅱ(各論)	保健11	1前	1			○		
		発達心理学	保健12	2前		1		○		
		臨床心理学	保健13	1後		1			○	
	健康と保健医療システム	健康論	保健14	1前		1		○		
		公衆衛生学Ⅰ(基礎)	保健15	1前	1			○		
		公衆衛生学Ⅱ(応用)	保健16	2後	1			○		
		疫学・保健統計Ⅰ(基礎)	保健17	3前	1			○		
		疫学・保健統計Ⅱ(応用)	保健18	3前	1			○		
		リハビリテーション概論	保健19	2後		1		○		
		救命・救急の理論と実際	保健20	2前	1			○		
		保健医療福祉論Ⅰ(基礎)	保健22	2後	1			○		
		保健医療福祉論Ⅱ(応用)	保健23	2後	1			○		
		食育論Ⅰ(基礎)	保健24	3前		1		○		
		食育論Ⅱ(応用)	保健25	3前		1		○		
		健康と運動	保健26	1後		1		○		
		家族社会学	保健27	1前		1		○		
		医療経営管理論	保健28	4後		1		○		
		リスクマネジメント論	保健29	2後	1			○		
		専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ(骨・筋・神経系)	—	1前	1			
人体の構造と機能Ⅱ(呼吸器・循環器・消化器系)	—			1前	1			○		
人体の構造と機能Ⅲ(泌尿器・生殖器・感覚器系)	—			1後	1			○		
病態学Ⅰ(内科系疾病論)	看4			2前	2			○		
病態学Ⅱ(外科系疾病論)	看5			2前	2			○		
病態学Ⅲ(高齢者・精神疾病論)	看6			2前	1			○		
臨床検査実習	—			2前	1				○	
基礎看護科目	看護学入門		看8	1前	1				○	
	看護倫理		看10	2後	1				○	
	看護技術論Ⅰ(生活援助技術)		看11	1前	2				○	
	看護技術論Ⅱ(看護共通技術)		—	1後	1				○	

(看護学科 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実験	
専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ (フィジカルアセスメント技術)	—	2 前	2				○	
		看護技術論Ⅳ (検査治療技術)	—	2 後	2				○	
		看護技術論Ⅴ (看護過程展開技術)	—	2 後	1				○	
		看護ふれあい体験学習	—	1 前	2					○
		基礎看護学実習	看 18	2 前	2					○
	医療・生活支援	成人看護学概論	—	2 後	1				○	
		成人看護学方法論Ⅰ	—	3 前	2				○	
		成人看護学方法論Ⅱ	—	3 前	2				○	
		がん看護学	—	2 後	1				○	
		ターミナルケア論	看 23	3 前		1			○	
		成人看護学実習 (急性期)	看 24	3 後・4 前	3					○
		成人看護学実習 (慢性期)	看 26	3 後・4 前	3					○
	療養支援	こころの健康と看護	—	1 後	1				○	
		療養支援看護概論	—	2 前	1				○	
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	看 30	2 後	1				○	
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅱ	—	3 前	2				○	
		精神看護学方法論	—	3 前	2				○	
		高齢者看護学実習	看 36	3 後・4 前	3					○
		在宅看護学実習	看 37	3 後・4 前	1					○
	精神看護学実習	看 38	3 後・4 前	2					○	
	健康支援	地域看護学概論	看 39	2 前	2				○	
		地域看護学方法論Ⅰ	看 40	2 後	1				○	
		地域看護学方法論Ⅱ	看 41	3 前	2				○	
		地域看護学方法論Ⅲ	看 42	3 前	2				○	
		地域看護学実習	看 43	3 後・4 前	3					○
	育成支援	育成支援看護概論	—	2 前	1				○	
		小児看護学方法論Ⅰ	看 45	2 後	1				○	
		小児看護学方法論Ⅱ	看 46	3 前	1				○	
		母性看護学方法論Ⅰ	看 48	2 後	1				○	
		母性看護学方法論Ⅱ	看 49	3 前	1				○	
		母性看護学実習	看 50	3 後・4 前	2					○
		小児看護学実習	看 51	3 後・4 前	2					○
		助産学概論	看 52	3 前		1			○	
助産診断・技術学Ⅰ (実践基礎)		—	3 前		1			○		
助産診断・技術学Ⅱ (ライフサイクル各期)		看 54	4 前		2			○		
助産診断・技術学Ⅲ (分娩期)		看 55	4 通		2			○		
助産診断・技術学Ⅳ (ハイリスク分娩)		看 56	4 後		2			○		
助産学実習Ⅰ (産婦ケア体験)		看 57	3 後		1				○	
助産学実習Ⅱ (継続支援)	看 58	4 通		3				○		
助産学実習Ⅲ (分娩期ケア)	看 59	4 通		3				○		

【専門科目】
(再掲)
必修 7.5 単位
+
選択 4 単位

(看護学科 2018 年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門科目	発展看護科目	看護管理学	看 60	4 前	1			○		【専門科目】 (再掲) 必修 7.5 単位 + 選択 4 単位
		感染看護学	—	2 後		1		○		
		看護政策論	看 62	4 後		1		○		
		災害看護学	看 63	3 前	1			○		
		看護キャリア発達論	看 64	2 前		1		○		
		看護管理学実習	看 65	4 前	1				○	
		総合実習	看 66	4 通	2				○	
		看護研究	看 67	4 通	2				○	
		看護学統合	看 68	4 後	1				○	
		リーダーシップ論	看 70	4 後		1		○		
		継続看護方法論	看 71	4 後		1		○		
		国際看護論	看 72	2 前		1		○		
		家族看護学概論	—	2 後		1		○		
		家族看護学方法論	—	3 前		1		○		

先修条件

【特色科目 (平成28年度入学生より適用する)】

1. 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
2. 「専門職間の連携活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県の健康づくり」の単位を修得済みであること。

【専門科目】

1. 下記の実習科目および「看護学統合」を履修するには、表に示す所定の科目の単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得見込みであること。

配当年次	授業科目の名称	履修に先立って修得しておかなければならない授業科目の名称																									
		講義科目					演習科目							実習科目													
		看護学入門	こころの健康と看護	成人看護学概論	育成支援看護概論	地域看護学概論	療養支援看護概論	看護管理学	看護技術論Ⅰ～Ⅲ	看護技術論Ⅳ～Ⅴ	成人看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	地域看護学方法論Ⅰ～Ⅲ	精神看護学方法論	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	母性看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	小児看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	看護ふれあい体験学習	基礎看護学実習	成人看護学実習(急性期)	成人看護学実習(慢性期)	精神看護学実習	在宅看護学実習	地域看護学実習	高齢者看護学実習	母性看護学実習	小児看護学実習	総合実習
1前	看護ふれあい体験学習	○																									
2前	基礎看護学実習	○	○					○								○											
3後 ～ 4前	成人看護学実習(急性期)			○					○	○						○	○										
	成人看護学実習(慢性期)			○					○	○						○	○										
	地域看護学実習					○			○	○						○	○										
	精神看護学実習						○		○		○					○	○										
	在宅看護学実習						○		○			○				○	○										
	高齢者看護学実習						○		○			○				○	○										
	母性看護学実習				○				○					○		○	○										
小児看護学実習			○					○						○	○	○											
4前	看護管理学実習						○										○	○									
4後	総合実習																										
	看護学統合																	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得見込みであること。

(看護学科 2018年度以前入学者用)

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	4単位	20単位	24単位
保健医療基礎科目	16単位	4単位	20単位
専門科目	75単位	4単位	79単位
合計	98単位	28単位	126単位

○ 助産課程に関する特記事項

助産課程選択の場合は、「助産学概論」及び「助産診断・技術学Ⅰ（実践基礎）」の計2単位を選択必修とするほか、別途、「助産診断・技術学Ⅱ（ライフサイクル各期）」、「助産診断・技術学Ⅲ（分娩期）」、「助産診断・技術学Ⅳ（ハイリスク分娩）」及び、「助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）」、「助産学実習Ⅱ（継続支援）」、「助産学実習Ⅲ（分娩期ケア）」の計13単位が必要である。

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計8単位が必要である。

○ 総合実習と看護学統合に関する特記事項

「総合実習」と「看護学統合」の履修は、卒業に必要な単位の修得が見込まれている必要がある。

別表（看護学科 2021・2022年度 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
特色科目	体験ゼミナール	特色1	3前	1					○	必修3単位
	千葉県の健康づくり	特色2	3後	1				○		
	専門職間の連携活動論	特色3	4後	1				○		
	社会実習（ボランティア活動）	特色4	4			1			○	
一般教養科目	人間理解群	心理学	一般1	3・4前		2		○		選択 4単位 (※1)
		哲学	一般2	3・4前		2		○		
		文学	一般3	3・4前		2		○		
		歴史と文化	一般4	3・4前		2		○		
		生命倫理	一般5	3・4後		2		○		
		宗教学	一般6	3・4後		2		○		
		教育学	一般7	3・4後		2		○		
		人間関係論	一般8	3・4前		2		○		
		コミュニケーション理論と実際	一般9	3・4前		2		○		
		健康スポーツ科学	一般10	3・4後		1			○	
		生涯身体運動科学	一般11	3・4前後		1			○	
	生活と環境群	生活とデザイン	一般12	3・4後		2		○		選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)	一般13	3・4前		2		○		
		社会学	一般14	3・4後		2		○		
		文化人類学	一般15	3・4前		2		○		
		経済学	一般16	3・4前		2		○		
		国際関係論	一般17	3・4後		2		○		
		社会福祉学	一般18	3・4前		1		○		
		国際的な健康課題	一般19	3・4後		1		○		
		人権・ジェンダー	一般20	3・4後		2		○		
		科学論	一般21	3・4前		2		○		
		環境変化と生態	一般22	3・4後		2		○		
		観察生物学入門	一般23	3・4前後		2		○		
		生物学	一般24	3・4前後		2		○		
		物理学	一般25	3・4前		2		○		
		化学	一般26	3・4前		2		○		
	情報理解群	統計学	一般27	3・4後	1				○	必修 2単位
		情報リテラシーⅠ	一般28	3前	1				○	
		情報リテラシーⅡ	一般29	3・4後		1			○	
		情報倫理	一般30	3・4後		1		○		
		実践統計学	一般31	4前		1		○		
	外国語群	英語Ⅰ（講読）	一般32	3・4前		1			○	必修 2単位 + 選択 2単位
		英語Ⅱ（英会話）	一般33	3・4前		1			○	
		英語Ⅲ（講読・記述）	一般34	3・4後		1			○	
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）	一般35	3・4後		1			○	
		英語Ⅴ（保健医療英語）	一般36	3後	2			○		
		英語Ⅵ（応用英語）	一般37	3・4後		1			○	
		英語Ⅶ（上級英語）A	一般38	4後		1		○		
		英語Ⅶ（上級英語）B	一般39	4後		1		○		

【一般教養科目】選択科目から選択8単位

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、
「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

別表（看護学科 2021・2022年度 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	保健1	3前		1		○			必修16単位 + 選択4単位
		生化学総論	—	—	1			○			
		栄養学Ⅰ（基礎）	—	—	1			○			
		栄養学Ⅱ（応用）	—	3後		1		○			
		薬理学Ⅰ（総論）	—	—	1			○			
		薬理学Ⅱ（各論）	—	—	1			○			
		病理学Ⅰ（総論）	—	—	1			○			
		病理学Ⅱ（各論）	—	—	1			○			
		微生物学Ⅰ（総論）	—	—	1			○			
		微生物学Ⅱ（各論）	—	—	1			○			
		発達心理学	保健12	4前		1		○			
		臨床心理学	保健13	3後		1			○		
		健康と保健医療システム	健康論	保健14	3前		1		○		
	公衆衛生学Ⅰ（基礎）		—	—	1			○			
	公衆衛生学Ⅱ（応用）		—	—	1			○			
	疫学・保健統計Ⅰ（基礎）		保健17	3前	1			○			
	疫学・保健統計Ⅱ（応用）		保健18	3前	1			○			
	リハビリテーション概論		保健19	3後		1		○			
	救命・救急の理論と実際		保健20	3前	1			○			
	画像診断学		保健21	3後		1		○			
	保健医療福祉論Ⅰ（基礎）		保健22	3後	1			○			
	保健医療福祉論Ⅱ（応用）		保健23	3後	1			○			
	食育論Ⅰ（基礎）		保健24	3前		1		○			
	食育論Ⅱ（応用）		保健25	3前		1		○			
	健康と運動		保健26	3後		1		○			
	家族社会学		保健27	3前		1		○			
	医療経営管理論		保健28	3前		1		○			
	リスクマネジメント論		保健29	3後		1		○			
	専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ（総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系）	—	—	1			○		
人体の構造と機能Ⅱ（循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系）			—	—	1			○			
人体の構造と機能Ⅲ（造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系）			—	—	1			○			
病態学Ⅰ（内科系疾病論）			—	—	2			○			
病態学Ⅱ（外科系疾病論）			—	—	2			○			
病態学Ⅲ（高齢者・精神疾病論）			—	—	1			○			
臨床検査論			—	—	1			○			
基礎看護科目		看護学入門	—	—	1			○			
		看護学原論	—	—	1				○		
		看護倫理	看10	3後	1			○			
		看護技術論Ⅰ（生活援助技術）	—	—	2				○		
		看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント技術）	—	—	1				○		
			—	—	1					○	

別表（看護学科 2021・2022年度 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ（検査治療技術）	—	—	2			○		【専門科目】 （再掲） 必修76単位 + 選択3単位	
		看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	—	—	1			○			
		看護技術論Ⅴ（統合技術演習）	—	—	1			○			
		日常生活調整方法論	看16	3・4前		1		○			
		看護学入門実習	—	—	2				○		
		基礎看護学実習	—	—	2				○		
	医療生活支援	臨床看護学概論	看19	3後	1			○			
		臨床看護学方法論Ⅰ（急性期・がん）	—	—	2			○			
		臨床看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	—	—	2			○			
		臨床看護学方法論Ⅲ（臨床看護技術演習）	—	—	1			○			
		ターミナルケア論	看23	3・4前		1		○			
		急性期看護学実習	—	—	2				○		
		慢性期看護学実習	—	—	3				○		
		療養生活支援	精神看護学概論	看28	3後	1			○		
			高齢者・在宅看護学概論	看29	3後	1			○		
			高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	—	—	1			○		
			高齢者看護学方法論Ⅱ	—	—	1			○		
			在宅看護学方法論Ⅱ	—	—	1			○		
			精神看護学方法論Ⅰ	—	—	1			○		
			精神看護学方法論Ⅱ	—	—	1			○		
	退院支援論		看35	3・4前		1		○			
	高齢者看護学実習		—	—	3				○		
	在宅看護学実習		—	—	1				○		
	精神看護学実習	—	—	2				○			
	健康生活支援	地域看護学概論	看39	3前	2			○			
		地域看護学方法論Ⅰ	看40	3後	1			○			
		地域看護学方法論Ⅱ	看41	3前	2			○			
		地域看護学方法論Ⅲ	看42	3前	1			○			
		地域看護学実習	看43	3後	3				○		
		看護政策論	看62	3・4後		1		○			
育成支援	育成期看護概論	看44	3前	1			○				
	小児看護学方法論Ⅰ	—	—	1			○				
	小児看護学方法論Ⅱ	—	—	1			○				
	小児地域ケア論	看47	3・4前		1		○				
	母性看護学方法論Ⅰ	—	—	1			○				
	母性看護学方法論Ⅱ	—	—	1			○				
	母性看護学実習	—	—	2				○			
	小児看護学実習	—	—	2				○			
	助産学概論	看52	3前		1		○				
	助産診断・技術学Ⅰ	看53	3前		1		○				

別表（看護学科 2021・2022年度 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門科目	発展看護科目	看護管理論	—	4前	1			○		【専門科目】 (再掲) 必修76単位 + 選択3単位
		災害看護学	看63	3前	1			○		
		看護キャリア発達論	看64	3後	1			○		
		看護管理実習	—	4前	1				○	
		総合実習	—	4通	3				○	
		看護研究	看67	4通	2				○	
		看護学統合	看68	4後	1				○	
		リーダーシップ論	看69	3・4前	1			○		
		国際看護論	看72	3前			1		○	
		家族看護論	看73	3後			1		○	

(看護学科 2023年度以降 編入学生用)

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「専門職間の関係活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県の健康づくり」の単位を修得済みであること。
- 3 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2単位を修得済みであること。

先修条件

【専門科目】

1 下記の実習科目および「看護学統合」を履修するには、表に示す所定の科目の単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

配当 年次	授業科目の名称	履修に先立って修得しておかなければならない 授業科目の名称																																			
		講義科目							演習科目							実習科目																					
		看護学入門	精神看護学概論	臨床看護学概論	育成期看護概論	地域看護学概論	地域看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護概論	臨床看護学方法論Ⅰ	臨床看護学方法論Ⅱ	看護管理論	看護学原論	看護技術論Ⅰ・Ⅲ	看護技術論Ⅳ・Ⅴ	地域看護学方法論Ⅲ	精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	高齢者看護学方法論Ⅱ	在宅看護学方法論Ⅱ	母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	臨床看護学方法論Ⅲ	助産診断・技術学Ⅱ	看護学入門実習	基礎看護学実習	急性期看護学実習	慢性期看護学実習	精神看護学実習	在宅看護学実習	地域看護学実習	高齢者看護学実習	母性看護学実習	小児看護学実習	助産学実習Ⅰ	総合実習		
1前	看護学入門実習	○																																			
2前	基礎看護学実習	○	○								○	○												○													
3後 ～ 4前	急性期看護学実習			○				○	○			○										○	○	○													
	慢性期看護学実習			○					○			○											○	○													
	地域看護学実習					○	○					○	○										○	○													
	精神看護学実習		○									○		○										○	○												
	在宅看護学実習							○								○		○						○	○												
	高齢者看護学実習							○								○		○						○	○												
	母性看護学実習																			○				○	○												
小児看護学実習																				○				○	○												
4前	看護管理実習									○																○	○										
4通	助産学実習Ⅱ																						○													○	
	助産学実習Ⅲ																						○													○	
4後	総合実習																																				
	看護学統合																																			○	

○：単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

別表（看護学科 2021・2022年度 編入学生用）

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	4単位	20単位	24単位
保健医療基礎科目	16単位	4単位	20単位
専門科目	76単位	3単位	79単位
合計	99単位	27単位	126単位

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語V（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計8単位が必要である。

(看護学科 2020年度以前編入学生用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
特色科目	体験ゼミナール	特色1	3前	1					○	必修3単位
	千葉県健康づくり	特色2	3後	1				○		
	専門職間の連携活動論	特色3	4後	1				○		
一般教養科目	人間理解群	心理学	一般1	3・4前		2		○		選択 4単位 (※1)
		哲学	一般2	3・4前		2		○		
		文学	一般3	3・4前		2		○		
		歴史と文化	一般4	3・4前		2		○		
		生命倫理	一般5	3・4後		2		○		
		宗教学	一般6	3・4後		2		○		
		教育学	一般7	3・4後		2		○		
		人間関係論	一般8	3・4前		2		○		
		コミュニケーション理論と実際	一般9	3・4前		2		○		
		健康スポーツ科学	一般10	3・4後		1			○	
		生涯身体運動科学	一般11	3・4前後		1			○	
	生活と環境群	生活とデザイン	一般12	3・4後		2		○		選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)	一般13	3・4前		2		○		
		社会学	一般14	3・4後		2		○		
		文化人類学	一般15	3・4前		2		○		
		経済学	一般16	3・4前		2		○		
		国際関係論	一般17	3・4後		2		○		
		社会福祉学	一般18	3・4前		1		○		
		国際的な健康課題	一般19	3・4後		1		○		
		人権・ジェンダー	一般20	3・4後		2		○		
		科学論	一般21	3・4前		2		○		
		環境変化と生態	一般22	3・4後		2		○		
		観察生物学入門	一般23	3・4前後		2		○		
		生物学	一般24	3・4前後		2		○		
		物理学	一般25	3・4前		2		○		
		化学	一般26	3・4前		2		○		
	情報理解群	統計学	一般27	3後	1				○	必修 2単位
		情報リテラシーI	一般28	3前	1				○	
		情報リテラシーII	一般29	3・4後		1			○	
		情報倫理	一般30	3・4後		1			○	
外国語群	英語I(基礎講読)	—	3・4前		1			○	必修 2単位 + 選択 2単位	
	英語II(基礎英会話)	—	3・4前		1			○		
	英語III(講読・記述)	一般34	3・4後		1			○		
	英語IV(英会話)	—	3・4後		1			○		
	英語V(保健医療英語)	一般36	3後	2				○		
	英語VI(応用英語)	一般37	3・4後		1			○		

【一般教養科目】選択科目から選択8単位

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目(「観察生物学入門」又は「生物学」)、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

(看護学科 2020年度以前編入学生用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	保健 1	3 前		1		○		必修 16 単位 + 選択 4 単位
		生化学総論	—	—	1			○		
		栄養学 I (基礎)	—	—	1			○		
		栄養学 II (応用)	保健 4	3 後		1		○		
		薬理学 I (総論)	—	—	1			○		
		薬理学 II (各論)	—	—	1			○		
		病理学 I (総論)	—	—	1			○		
		病理学 II (各論)	—	—	1			○		
		微生物学 I (総論)	—	—	1			○		
		微生物学 II (各論)	—	—	1			○		
		発達心理学	保健 12	4 前		1		○		
	臨床心理学	保健 13	3 後		1			○		
	健康と保健医療システム	健康論	保健 14	3 前		1		○		
公衆衛生学 I (基礎)		—	—	1			○			
公衆衛生学 II (応用)		—	—	1			○			
疫学・保健統計 I (基礎)		保健 17	3 前	1			○			
疫学・保健統計 II (応用)		保健 18	3 前	1			○			
リハビリテーション概論		保健 19	3 後		1		○			
救命・救急の理論と実際		保健 20	3 前	1			○			
保健医療福祉論 I (基礎)		保健 22	3 後	1			○			
保健医療福祉論 II (応用)		保健 23	3 後	1			○			
食育論 I (基礎)		保健 24	3 前		1		○			
食育論 II (応用)		保健 25	3 前		1		○			
健康と運動		保健 26	3 後		1		○			
家族社会学	保健 27	3 前		1		○				
医療経営管理論	保健 28	4 後		1		○				
リスクマネジメント論	保健 29	3・4 後		1		○				
専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能 I (骨・筋・神経系)	—	—	1			○		【専門科目】 必修 7 6 単位 + 選択 3 単位
		人体の構造と機能 II (呼吸器・循環器・消化器系)	—	—	1			○		
		人体の構造と機能 III (泌尿器・生殖器・感覚器系)	—	—	1			○		
		病態学 I (内科系疾病論)	—	—	2			○		
		病態学 II (外科系疾病論)	—	—	2			○		
		病態学 III (高齢者・精神疾病論)	—	—	1			○		
		臨床検査実習	—	—	1				○	
	基礎看護科目	看護学入門	—	—	1				○	
		看護倫理	看 10	3 後	1				○	
		看護技術論 I (生活援助技術)	—	—	2				○	
	看護技術論 II (看護共通技術)	—	—	1				○		

(看護学科 2020年度以前編入学生用)

		看護技術論Ⅲ (フィジカルアセスメント技術)	—	—	2				○		
		看護技術論Ⅳ (検査治療技術)	—	—	2				○		
		看護技術論Ⅴ (看護過程展開技術)	—	—	1				○		
		看護ふれあい体験学習	—	—	2					○	
		基礎看護学実習	—	—	2					○	
専門科目	実践看護科目	医療・生活支援	成人看護学概論	—	3 後	1			○		
			成人看護学方法論Ⅰ	—	—	2			○		
			成人看護学方法論Ⅱ	—	—	2			○		
			がん看護学	—	3 後	1			○		
			ターミナルケア論	看 23	3・4 前		1		○		
			成人看護学実習 (急性期)	—	—	3					○
		成人看護学実習 (慢性期)	—	—	3					○	
		療養支援	こころの健康と看護	—	3 後	1			○		
			療養支援看護概論	—	3 後	1			○		
			高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	—	—	1				○	
			高齢者・在宅看護学方法論Ⅱ	—	—	2				○	
			精神看護学方法論	—	—	2				○	
	高齢者看護学実習		—	—	3					○	
	健康支援	在宅看護学実習	—	—	1					○	
		精神看護学実習	—	—	2					○	
		地域看護学概論	看 39	3 前	2			○			
		地域看護学方法論Ⅰ	看 40	3 後	1			○			
		地域看護学方法論Ⅱ	看 41	3 前	2			○			
	育成支援	地域看護学方法論Ⅲ	看 42	3 前	2			○			
		地域看護学実習	看 43	3 後	3					○	
		育成支援看護概論	—	3・4 前	1			○			
		小児看護学方法論Ⅰ	—	—	1				○		
		小児看護学方法論Ⅱ	—	—	1				○		
		母性看護学方法論Ⅰ	—	—	1				○		
母性看護学方法論Ⅱ		—	—	1				○			
母性看護学実習		—	—	2					○		
小児看護学実習	—	—	2					○			
		助産学概論	看 52	3 前		1		○			
		助産診断・技術学Ⅰ (実践基礎)	看 53	3 前		1		○			

【専門科目】
(再掲)
必修7.6単位
+
選択3単位

(看護学科 2020年度以前編入学生用)

科目区分	授業科目の名称	ページ	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門科目	発展看護科目	看護管理学	看 60	4 前	1			○		【専門科目】 (再掲) 必修 7 6 単位 + 選択 3 単位
		感染看護学	—	4 後		1		○		
		看護政策論	看 62	4 後		1		○		
		災害看護学	看 63	3 前	1			○		
		看護キャリア発達論	看 64	3 後	1			○		
		看護管理学実習	看 65	4 前	1				○	
		総合実習	看 66	4 通	2				○	
		看護研究	看 67	4 通	2				○	
		看護学統合	看 68	4 後	1				○	
		リーダーシップ論	看 70	4 後		1		○		
		継続看護方法論	看 71	4 後		1		○		
		国際看護論	看 72	3 前		1		○		
		家族看護学概論	—	3 後		1		○		
		家族看護学方法論	—	4 前		1		○		

先修条件

【特色科目】

1. 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
2. 「専門職間の連携活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県の健康づくり」の単位を修得済みであること。

【専門科目】

1. 下記の実習科目および「看護学統合」を履修するには、表に示す所定の科目の単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得見込みであること。

配当年次	授業科目の名称	履修に先立って修得しておかなければならない授業科目の名称																										
		講義科目						演習科目						実習科目														
		看護学入門	こころの健康と看護	成人看護学概論	育成支援看護概論	地域看護学概論	療養支援看護概論	看護管理学	看護技術論Ⅰ～Ⅲ	看護技術論Ⅳ～Ⅴ	成人看護学方法論Ⅰ	成人看護学方法論Ⅱ	地域看護学方法論Ⅰ～Ⅲ	精神看護学方法論	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	母性看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	小児看護学方法論Ⅰ～Ⅱ	看護ふれあい体験学習	基礎看護学実習	成人看護学実習(急性期)	成人看護学実習(慢性期)	精神看護学実習	在宅看護学実習	地域看護学実習	高齢者看護学実習	母性看護学実習	小児看護学実習	総合実習
1前	看護ふれあい体験学習	○																										
2前	基礎看護学実習	○	○														○											
3後 ～ 4前	成人看護学実習(急性期)			○					○	○	○						○	○										
	成人看護学実習(慢性期)			○					○	○	○						○	○										
	地域看護学実習					○			○		○						○	○										
	精神看護学実習						○		○			○					○	○										
	在宅看護学実習						○		○			○					○	○										
	高齢者看護学実習						○		○			○					○	○										
	母性看護学実習				○				○					○			○	○										
小児看護学実習				○				○							○	○	○											
4前	看護管理学実習					○												○	○									
4後	総合実習																											
	看護学統合																		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得見込みであること。

(看護学科 2020年度以前編入学生用)

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	4単位	20単位	24単位
保健医療基礎科目	16単位	4単位	20単位
専門科目	76単位	3単位	79単位
合計	99単位	27単位	126単位

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計8単位が必要である。

○ 総合実習と看護学統合に関する特記事項

「総合実習」と「看護学統合」の履修は、卒業に必要な単位の修得が見込まれている必要がある。

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目	体験ゼミナール	1前	1					○	45	必修3単位	
	千葉県の健康づくり	2後	1				○		30		
	専門職間の連携活動論	4後	1				○		30		
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45		
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4前		2		○			30	必修2単位 + 選択4単位 このうち bから1科目以上選択
		哲学	1・2・3・4前		2		○			30	
		文学	1・2・3・4前		2		○			30	
		歴史と文化	1・2・3・4前		2		○			30	
		生命倫理	1・2・3・4後	2			○			30	
		宗教学	1・2・3・4後		2		○			30	
		教育学	1・2・3・4前		2		○			30	
		人間関係論 b	1・2・3・4前		2		○			30	
		コミュニケーション理論と実際 b	1・2・3・4前		2		○			30	
		健康スポーツ科学	1・2・3・4前後		1			○		30	
	生涯身体運動科学	1・2・3・4前後		1			○		30		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4後		2		○			30	選択6単位 このうち ※から1科目以上選択 #から1科目以上選択
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4前		2		○			30	
		社会学※	1・2・3・4後		2		○			30	
		文化人類学	1・2・3・4前		2		○			30	
		経済学	1・2・3・4前		2		○			30	
		国際関係論※	1・2・3・4後		2		○			30	
		社会福祉学※	1・2・3・4前		1		○			15	
		国際的な健康課題※	1・2・3・4後		1		○			15	
		人権・ジェンダー	1・2・3・4後		2		○			30	
		科学論	1・2・3・4前		2		○			30	
		環境変化と生態	1・2・3・4後		2		○			30	
		観察生物学入門	1・2・3・4前後		2		○			30	
		生物学#	1・2・3・4前後		2		○			30	
	物理学#	1・2・3・4前		2		○			30		
	化学#	1・2・3・4前		2		○			30		
	情報理解群	統計学	1・2・3・4後	1				○		30	必修2単位
		情報リテラシー I	1・2・3・4前	1				○		30	
		情報リテラシー II	1・2・3・4後		1			○		30	
		情報倫理	1・2・3・4後		1		○			15	
		実践統計学	2・3・4前		1		○			15	
	外国語群	英語 I（講読）	1・2・3・4前		1			○		30	必修2単位 + 選択2単位
		英語 II（英会話）	1・2・3・4前		1			○		30	
		英語 III（講読・記述）	1・2・3・4後		1			○		30	
		英語 IV（英語コミュニケーション）	1・2・3・4後		1			○		30	
		英語 V（保健医療英語）	2前	2			○			30	
英語 VI（応用英語）		1・2・3・4後		1			○		30		
英語 VII（上級英語） A		2・3・4後		1		○			15		
英語 VII（上級英語） B		2・3・4後		1		○			15		

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2・4前		1		○			15	必修10単位 + 選択4単位
		生化学総論	1前			1	○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	2後			1	○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）	2後			1	○			15	
		心の健康	2・4後		1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1後	1			○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1後	1			○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1前	1			○			15	
		病理学Ⅱ（各論）	1前	1			○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1・4前		1		○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）	1・4前		1		○			15	
		発達心理学	1・4前		1		○			15	
		臨床心理学	1・2・4後		1			○		30	
		健康と保健医療システム	健康論	1・2・4前		1		○			
	公衆衛生学Ⅰ（基礎）		2前	1			○			15	
	公衆衛生学Ⅱ（応用）		2後	1			○			15	
	疫学・保健統計Ⅰ（基礎）		3前	1			○			15	
	疫学・保健統計Ⅱ（応用）		3前	1			○			15	
	リハビリテーション概論		2・3後		1		○			15	
	救命・救急の理論と実際		2・4前		1		○			15	
	画像診断学		2・3・4後		1		○			15	
	保健医療福祉論Ⅰ（基礎）		2後	1			○			15	
	保健医療福祉論Ⅱ（応用）		2後	1			○			15	
	食育論Ⅰ（基礎）		3前		1		○			15	
	食育論Ⅱ（応用）		3前		1		○			15	
	専門科目	専門基礎科目	管理栄養士導入教育	1前	1			○			
解剖生理学Ⅰ			1前	2			○			30	
解剖学実験			1後	1					○	45	
解剖生理学Ⅱ			1後	2			○			30	
生理学実験			2前	1					○	45	
生化学			1前	2			○			30	
栄養生化学			1後	2			○			30	
生化学実験			2前	1					○	45	
疾病論			2前	2			○			30	
高齢者医療論			3・4後		1		○			15	
食品学各論			1前	2			○			30	
食品学実験			1後	1					○	45	
食品学総論			1前	2			○			30	
食品化学実験			1後	1					○	45	
理化学概論			1前		1				○	15	

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
専門科目	専門基礎科目	食品衛生学	1 後	2			○			30	【専門科目】 (再掲) 必修78単位 + 選択7単位
		食品衛生学実験	2 後	1					○	45	
		食品加工学	2 前	1			○			15	
		食品加工学実習	2 後	1					○	45	
		食品微生物学	3・4 後		1		○			15	
		食事設計と調理	1 前	2			○			30	
		食事設計と調理実習	2 前	1					○	45	
		調理実習	1 後	1					○	45	
		調理科学実験	1 前	1					○	45	
	学 栄養 基礎	基礎栄養学	1 後	2			○			30	
		基礎栄養学実習	2 前	1					○	45	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2 前	2			○			30	
		応用栄養学Ⅱ	2 後	2			○			30	
		応用栄養学Ⅲ	3 前	2			○			30	
		応用栄養学実習	3 前	1					○	45	
		スポーツ栄養学	3・4 後		1		○			15	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2 後	2			○			30	
		栄養教育論Ⅱ	3 前	2			○			30	
		栄養教育論実習	3 前	1					○	45	
		栄養教育手法論	3 前	2			○			30	
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2 前	2			○			30	
		臨床栄養学Ⅱ	2 後	2			○			30	
		臨床栄養学実習	2 後	1					○	45	
		栄養ケアマネジメント論	3 前	2			○			30	
		栄養ケアマネジメント論実習	3 前	1					○	45	
		臨床検査学	2 前	2			○			30	
		在宅栄養支援論	3・4 後		1		○			15	
		障害者栄養支援論	3・4 後		1		○			15	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2 後	2			○			30	
		公衆栄養学Ⅱ	3 前	2			○			30	
		公衆栄養学実習	3 前	1					○	45	
		国際栄養学	3・4 後		1		○			15	
管 給食経営 理 論	給食経営管理論Ⅰ	2 前	2			○			30		
	給食経営管理論Ⅱ	2 後	2			○			30		
	給食経営管理実習	3 前	2					○	90		
	フードマネジメント論	3・4 後		1		○			15		
演習 総合	総合演習	4 前	1				○		30		
	栄養統計学	3 後	1			○			15		
	管理栄養士特別演習	4 通		2			○		60		
研究	卒業研究	4 通	2				○		60		
臨地実習	臨床栄養臨地実習	3 通	2					○	90		
	給食経営管理臨地実習	3 通	2					○	90		
	公衆栄養臨地実習	3 通		1				○	45		

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
専門科目	臨地実習	栄養管理臨地実習	4通		1				○	45	【専門科目】 (再掲) 必修7.8単位 + 選択7単位
		事前指導	3通	1				○	30		
		事後指導	3通	1				○	30		

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」、「英語Ⅶ(上級英語) B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 「臨床栄養学実習」を履修するには、「臨床栄養学Ⅰ」の単位を修得済みであり、「臨床栄養学Ⅱ」の単位は修得見込みであること。
- 2 「公衆栄養学実習」を履修するには、「公衆栄養学Ⅱ」の単位を修得見込みであること。
- 3 「臨床栄養臨地実習」、「給食経営管理臨地実習」、「公衆栄養臨地実習」、「事前指導」及び「事後指導」を履修するには、3年前期に担当された必修の専門科目の単位を修得見込みであること。
- 4 「栄養教諭教育実習」及び「栄養教諭教育実習：事前・事後指導」を履修するには、管理栄養士課程の「臨床栄養臨地実習」及び「給食経営管理臨地実習」を単位修得済みであり、3年次終了までに担当された教職課程の全科目を単位修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に担当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に担当された専門科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	6単位	18単位	24単位
保健医療基礎科目	10単位	4単位	14単位
専門科目	78単位	7単位	85単位
合計	97単位	29単位	126単位

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

教職（栄養教諭一種）課程選択

栄養教諭一種免許取得希望者は、下表に指定する一般教養科目を含む卒業要件の126単位のほか、栄養教諭に関する科目を履修し、その単位を取得しなければならない。卒業時の取得単位数は149単位とする。

栄養教諭一種免許取得希望者の履修内容は次のとおりである。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	時間数	履修方法等		
一般教養科目	理解人間	健康スポーツ科学 (再掲)	1・2・3 前後	1	30		
		生涯身体運動科学 (再掲)	1・2・3 前後	1	30		
	環境生活と	法学（日本国憲法） (再掲)	1・2・3 前	2	30		
		情報理解	情報リテラシーⅠ (再掲)	1・2・3 前	1		30
	情報リテラシーⅡ (再掲)		1・2・3 後	1	30		
	外国語群	英語Ⅱ（英会話） (再掲)	1・2・3 前	1	30		3科目のうち2単位を選択必修とする
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション） (再掲)	1・2・3 後	1	30		
英語Ⅵ（応用英語） (再掲)		1・2・3 後	1	30			
栄養教諭に関する科目	栄養に係る教育に関する科目	食生活教育論	3 前	2	30		
		学校栄養教育論	3 後	2	30		
	教育の基礎的理解に関する科目	教職論	1 後	2	30		
		教育学概論	2 後	1	15		
		教育心理	2 前	2	30		
		教育制度論	2 後	1	15		
		カリキュラム論	2 前	1	15		
		特別支援教育論	3 前	1	15		
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法と技術	3 前	2	30		
		道徳・総合的な学習・特別活動論	2 前	1	15		
		生徒指導論	3 前	1	15		
		教育相談	3 後	2	30		
	教育実践に関する科目	教職実践演習（栄養教諭）	4 後	2	30		
		栄養教諭教育実習：事前・事後指導	4 通	1	45		
		栄養教諭教育実習	4 通	2	90		

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

食品衛生監視員及び食品衛生管理者

2019年度入学生から、栄養学科の課程を修了することで食品衛生監視員及び食品衛生管理者の任用資格を取得することができる。

なお、法令に定める科目に対応する、本学の授業科目は下表のとおり。

食品衛生法施行規則別表第14及び第15に定める学科、科目名

区分	規定科目	規定科目に対応する 本学授業科目名	配当 年次	選択別		単位数
				必修	選択	
A群 化学関係	有機化学 無機化学	化学	1・2・3・4 前		2	2
		分析化学	1 後	1		1
		理化学概論	1 前		1	1
		小計		1	3	4
B群 生物化学関係	生物化学	生化学	1 前	2		2
		栄養生化学	1 後	2		2
		生化学実験	2 前	1		1
	食品化学	食品学総論	1 前	2		2
		食品学各論	1 前	2		2
		食品学実験	1 後	1		1
	生理学	解剖生理学Ⅱ	1 後	2		2
生理学実験		2 前	1		1	
	小計		13	0	13	
C群 微生物学関係	食品微生物学	食品微生物学	3・4 後		1	1
	食品保存学	食品加工学	2 前	1		1
	食品製造学	食品加工学実習	2 後	1		1
		小計		2	1	3
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2 前	1		1
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2 後	1		1
	食品衛生学	食品衛生学	1 後	2		2
		食品衛生学実験	2 後	1		1
	疫学	疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1		1
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1		1
		小計		7	0	7
A群からD群の合計で22単位以上を履修		合計（A+B+C+D）		23	4	27

別表（栄養学科 2019年度以降入学生用）

E群その他の関連科目	病理学	病理学Ⅰ（総論）	1前	1		1	
		病理学Ⅱ（各論）	1前	1		1	
	医学概論	疾病論	2前	2		2	
	解剖学	解剖生理学Ⅰ	1前	2		2	
		解剖学実験	1後	1		1	
	栄養化学	基礎栄養学	1後	2		2	
		基礎栄養学実習	2前	1		1	
	栄養学	応用栄養学Ⅰ	2前	2		2	
		応用栄養学Ⅱ	2後	2		2	
		応用栄養学Ⅲ	3前	2		2	
	その他これらに類する食品衛生に関する科目	食事設計と調理	食事設計と調理	1前	2		2
			食事設計と調理実習	2前	1		1
			調理実習	1後	1		1
			調理科学実験	1前	1		1
小計				21	0	21	
A群からE群を含め40単位以上を履修		総計（A+B+C+D+E）		44	4	48	

（注）

○ 上表のうち、必修科目のみで法定の必要単位数を上回るため、栄養学科の課程を修了した全ての者は、当該資格を取得することができる。（2019年度以降の入学者に限る。）

○ 「任用資格」とは、特定の職務に従事するために必要な資格である。申請により免許を取得する栄養士及び管理栄養士と異なり、養成施設の課程を修了し、当該職務に任用されることで効力が発生する。

○ 食品衛生監視員及び食品衛生管理者養成施設である他大学から本学栄養学科に転入学した者は、転入元と本学での修得単位を合算し、必要な単位を修得することで資格を取得することができる。

なお、未登録施設から転入学した場合は、食品衛生法及び同法施行規則の規定により、既修得単位を認定することはできないので、上表の資格取得に必要な授業科目は、本学で履修する必要がある。

栄養士課程指定規則との比較表						
教育内容	単位数		授業科目の名称	配当年次	単位数（授業形態別）	
	講義又は演習	実験又は実習			講義・演習	実験・実習
社会生活と健康	4		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2	1	
			公衆衛生学Ⅱ（応用）	2	1	
			保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2	1	
			疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3	1	
人体の構造と機能	8	4	解剖生理学Ⅰ	1	2	
			解剖生理学Ⅱ	1	2	
			生化学	1	2	
			生化学実験	2		1
			疾病論	2	2	
			解剖学実験	1		1
			生理学実験	2		1
食品と衛生	6		食品学各論	1	2	
			食品学実験	1		1
			食品学総論	1	2	
			食品化学実験	1		1
			食品衛生学	1	2	
			食品加工学	2	1	
栄養と健康	8		基礎栄養学	1	2	
			基礎栄養学実習	2		1
			応用栄養学Ⅰ	2	2	
			応用栄養学Ⅱ	2	2	
			応用栄養学実習	3		1
			臨床栄養学Ⅰ	2	2	
栄養の指導	6	10	臨床栄養学実習	2		1
			栄養教育論Ⅰ	2	2	
			栄養教育論実習	3		1
			栄養教育手法論	3	2	
			公衆栄養学Ⅰ	2	2	
給食の運営	4		公衆栄養学実習	3		1
			食事設計と調理	1	2	
			調理実習	1		1
			給食経営管理論Ⅰ	2	2	
			給食経営管理実習	3		2
			給食経営管理臨地実習	3		2
小計	36	14			37	15
合計	50				52	

管理栄養士に係る必修科目						
管理栄養士学校指定規則（以下この表で「指定規則」という。）による教育内容	指定規則による単位数		授業科目の名称	開設科目の単位数		
	講義又は演習	実験又は実習		講義又は演習	実験又は実習	
専門基礎分野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学Ⅰ（基礎） 公衆衛生学Ⅱ（応用） 保健医療福祉論Ⅰ（基礎） 保健医療福祉論Ⅱ（応用） 疫学・保健統計Ⅰ（基礎） 疫学・保健統計Ⅱ（応用）	1 1 1 1 1 1	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 栄養生化学 生化学実験 疾病論 解剖学実験 生理学実験 薬理学Ⅰ（総論） 薬理学Ⅱ（各論） 病理学Ⅰ（総論） 病理学Ⅱ（各論）	2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	1 1 1
	食べ物と健康	8		食品学各論 食品学実験 食品学総論 食品化学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品加工学 食品加工学実習 食事設計と調理 食事設計と調理実習 調理実習 調理科学実験	2 2 2 2 2 1 2 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1
	計	28	10	計	29	10
専門分野	基礎栄養学	2	8	基礎栄養学 基礎栄養学実習	2 1	1
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ 応用栄養学実習	2 2 2 1	
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習 栄養教育手法論	2 2 2 2	1
	臨床栄養学	8	8	臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習 栄養ケアマネジメント論 栄養ケアマネジメント論実習 臨床検査学	2 2 2 2 2 2	1 1
	公衆栄養学	4		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習	2 2 1	1
	給食経営管理論	4		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習	2 2 2	2
	総合演習	2		事後指導 総合演習	1 1	
	臨地実習		4	臨床栄養臨地実習 給食経営管理臨地実習		2 2
	計	32	12	計	32	12
合計	60	22	合計	61	22	

別表（歯科衛生学科 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習				
特色科目	体験ゼミナール	1 前	1					○	45	必修3単位		
	千葉県健康づくり	2 後	1					○	30			
	専門職間の連携活動論	4 後	1					○	30			
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45			
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前		2			○	30	必修9単位 【一般教養科目】 選択科目から選択11単位		
		哲学	1・2・3・4 前		2			○	30			
		文学	1・2・3・4 前		2			○	30			
		歴史と文化	1・2・3・4 前		2			○	30			
		生命倫理	1・2・3・4 後	2				○	30			
		宗教学	1・2・3・4 後		2			○	30			
		教育学	1・2・3・4 前		2			○	30			
		人間関係論	1・2・3・4 前		2			○	30			
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4 前		2			○	30			
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後	1					○		30	
	生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後		1				○	30			
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後		2				○		30	
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4 前	2					○		30	
		社会学	1・2・3・4 後		2				○		30	
		文化人類学	1・2・3・4 前		2				○		30	
		経済学	1・2・3・4 前		2				○		30	
		国際関係論	1・2・3・4 後		2				○		30	
		社会福祉学	1・2・3・4 前		1				○		15	
		国際的な健康課題	1・2・3・4 後		1				○		15	
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後		2				○		30	
		科学論	1・2・3・4 前		2				○		30	
		環境変化と生態	1・2・3・4 後		2				○		30	
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後		2				○		30	
		生物学	1・2・3・4 前後	2					○		30	
	物理学	1・2・3・4 前		2				○	30			
	化学	1・2・3・4 前		2				○	30			
	情報理解群	統計学	1・2・3・4 後	1					○		30	
		情報リテラシーⅠ	1・2・3・4 前	1					○		30	
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4 後		1				○		30	
		情報倫理	1・2・3・4 後		1				○		15	
		実践統計学	2・3・4 前		1				○		15	
	外国語群	英語Ⅰ（講読）	1・2・3・4 前		1				○		30	必修2単位 + 選択2単位
		英語Ⅱ（英会話）	1・2・3・4 前		1				○		30	
		英語Ⅲ（講読・記述）	1・2・3・4 後		1				○		30	
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）	1・2・3・4 後		1				○		30	
		英語Ⅴ（保健医療英語）	2 前	2					○		30	
英語Ⅵ（応用英語）		1・2・3・4 後		1				○	30			
英語Ⅶ（上級英語）A		2・3・4 後		1				○	15			
英語Ⅶ（上級英語）B		2・3・4 後		1				○	15			

別表（歯科衛生学科 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2前	1		○			15	必修13単位 + 選択3単位
		生化学総論	1前	1		○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1後	1		○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）	1後	1		○			15	
		心の健康	1後		1		○		15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1後	1			○		15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1後	1			○		15	
		病理学Ⅰ（総論）	1前	1			○		15	
		病理学Ⅱ（各論）	1前	1			○		15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1前	1			○		15	
		微生物学Ⅱ（各論）	1前	1			○		15	
		発達心理学	1前		1		○		15	
		臨床心理学	1後		1			○	30	
	健康と保健医療システム	健康論	1前		1		○		15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2前	1			○		15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2後		1		○		15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3前		1		○		15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3前		1		○		15	
		リハビリテーション概論	2後	1			○		15	
		救命・救急の理論と実際	2前	1			○		15	
		画像診断学	2・3・4後		1		○		15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2後	1			○		15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2後	1			○		15	
		食育論Ⅰ（基礎）	3前		1		○		15	
		食育論Ⅱ（応用）	3前		1		○		15	
		健康と運動	1後		1		○		15	
家族社会学	1前		1		○		15			
医療経営管理論	4後		1		○		15			
リスクマネジメント論	2後		1		○		15			
専門科目	歯科衛生基礎	解剖学	1前	2			○		30	必修27単位
		生理学	1後	2			○		30	
		内科学概論	1後	1			○		15	
		高齢者医療論	2後	1			○		15	
		口腔解剖学	1前	2			○		30	
		口腔生理学	2前	1			○		15	
		口腔病理学	1後	1			○		15	
		口腔微生物学	1後	1			○		15	
		歯科薬理学	2前	1			○		15	
		歯科生化学・臨床検査法	1後	1			○		15	
		口腔衛生学	1後	2			○		30	
		歯科診断学	2後	1			○		15	
		歯科矯正学	3前	1			○		15	
		歯科材料学	2前	1			○		15	
		歯科保存学	2前	2			○		15	

別表（歯科衛生学科 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
専門科目	歯科衛生基礎	歯周治療学	2前	1			○		15	生涯歯科衛生及び歯科衛生健康推進から選択2単位	
		歯科補綴学	2前	2			○		30		
		顎口腔外科学	2前	2			○		30		
		顎口腔機能論	2前	1			○		15		
		歯科衛生基礎演習	2前	1				○	30		
	生涯歯科衛生	歯科衛生学概論	1前	2			○		30		必修 19単位
		歯科医療安全管理論	2前	1			○		15		
		チーム歯科医療論	2後	1			○		15		
		歯科疾患予防学	2前	1			○		15		
		発達歯科衛生学Ⅰ(小児)	2後	2			○		30		
		発達歯科衛生学Ⅱ(成人・高齢者)	2後	3			○		45		
		歯科衛生体験演習Ⅰ	1後	1				○	30		
		歯科衛生体験演習Ⅱ	2後	1				○	30		
		歯科診療補助演習	3前	2				○	60		
		歯科予防処置演習	3前	2				○	60		
		顎口腔機能リハビリテーション論	2後	1			○		15		
		顎口腔機能リハビリテーション演習	3前	1				○	30		
		在宅歯科衛生管理論Ⅰ	3前	1			○		15		
	在宅歯科衛生管理論Ⅱ	4前		1		○		15			
	歯科衛生健康推進	歯科衛生アセスメント論	3前	1			○		15		必修 11単位
		保健行動科学論	1後	1			○		15		
		歯科保健指導・健康教育論	2前	1			○		15		
		歯科保健指導演習Ⅰ	2後	2				○	60		
		歯科保健指導演習Ⅱ	3前	1				○	30		
		歯科衛生統計演習	3前	1				○	30		
		地域歯科衛生学	2前	1			○		15		
		地域歯科衛生演習	3前	1				○	30		
		衛生行政	2後	1			○		15		
		国際歯科衛生学	3前		1		○		15		
	臨床・臨地実習	歯科診療室基礎実習	3前	2				○	90		必修22単位
		歯科診療所実習	3後	4				○	180		
		病院実習	4後	3				○	135		
		継続・個別支援実習Ⅰ	3後	2				○	90		
継続・個別支援実習Ⅱ		4前	2				○	90			
発達歯科衛生実習Ⅰ(小児)		4前	2				○	90			
発達歯科衛生実習Ⅱ(成人・高齢者)		4前	2				○	90			
地域歯科衛生実習		4前	1				○	45			
歯科診療室総合実習Ⅰ		3後	2				○	90			
歯科診療室総合実習Ⅱ		4前	2				○	90			
研究		卒業研究	3後～4通	2				○	60	必修2単位	

別表（歯科衛生学科 2019 年度以降入学生用）

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ（上級英語）A」、「英語Ⅶ（上級英語）B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2科目の単位（2単位）を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 歯科衛生基礎演習を履修するには、口腔微生物学、口腔衛生学の単位を修得済みであること。
- 2 歯科保健指導演習Ⅰを履修するには、保健行動科学論、歯科保健指導・健康教育論の単位を修得済みであること。
- 3 歯科保健指導演習Ⅱを履修するには、歯科衛生アセスメント論の単位を修得済みであること。
- 4 歯科診療室基礎実習を履修するには、歯科診療補助演習の単位を修得済みであること。
- 5 歯科診療室基礎実習及び病院実習を除く臨床・臨地実習を履修するには、保健医療基礎科目及び専門科目のうち、3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 6 病院実習を履修するには、3年次後期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みで、4年次前期に配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 7 卒業研究を履修するには、原則として3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に配当された専門科目のうち、専門基礎科目、歯科衛生基礎科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	11単位	13単位	24単位
保健医療基礎科目	13単位	3単位	16単位
専門科目	81単位	2単位	83単位
合計	108単位	18単位	126単位

(歯科衛生学科 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習				
特色科目	千葉県の健康づくり	2後	1					○	30	必修3単位		
	体験ゼミナール	1前	1					○	45			
	専門職間の連携活動論	4後	1					○	30			
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4前		2			○		30	【一般教養科目】 選択科目から選択13単位	
		哲学	1・2・3・4前		2			○		30		
		文学	1・2・3・4前		2			○		30		
		歴史と文化	1・2・3・4前		2			○		30		
		生命倫理	1・2・3・4後	2				○		30		
		宗教学	1・2・3・4後		2			○		30		
		教育学	1・2・3・4前		2			○		30		
		人間関係論	1・2・3・4前		2			○		30		
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4前		2			○		30		
		健康スポーツ科学	1・2・3・4前後	1					○	30		
	生涯身体運動科学	1・2・3・4前後		1				○	30			
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4後		2			○		30		
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4前	2				○		30		
		社会学	1・2・3・4後		2			○		30		
		文化人類学	1・2・3・4前		2			○		30		
		経済学	1・2・3・4前		2			○		30		
		国際関係論	1・2・3・4後		2			○		30		
		社会福祉学	1・2・3・4前		1			○		15		
		国際的な健康課題	1・2・3・4後		1			○		15		
		人権・ジェンダー	1・2・3・4後		2			○		30		
		科学論	1・2・3・4前		2			○		30		
		環境変化と生態	1・2・3・4後		2			○		30		
		観察生物学入門	1・2・3・4前後		2			○		30		
		生物学	1・2・3・4前後	2				○		30		
	物理学	1・2・3・4前		2			○		30			
	化学	1・2・3・4前		2			○		30			
	情報理解群	統計学	1・2・3・4後	1					○	30		
		情報リテラシーⅠ	1・2・3・4前	1					○	30		
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4後		1				○	30		
		情報倫理	1・2・3・4後		1			○		15		
	外国語群	英語Ⅰ(基礎講読)	1・2・3・4前		1				○	30		必修 2単位 + 選択 2単位
		英語Ⅱ(基礎英会話)	1・2・3・4前		1				○	30		
		英語Ⅲ(講読・記述)	1・2・3・4後		1				○	30		
英語Ⅳ(英会話)		1・2・3・4後		1				○	30			
英語Ⅴ(保健医療英語)		2前	2				○		30			
英語Ⅵ(応用英語)		1・2・3・4後		1				○	30			

(歯科衛生学科 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2前		1		○		15	必修16単位 + 選択3単位
		生化学総論	1前		1		○		15	
		栄養学Ⅰ(基礎)	1後	1			○		15	
		栄養学Ⅱ(応用)	1後	1			○		15	
		心の健康	1後	1			○		15	
		薬理学Ⅰ(総論)	1後	1			○		15	
		薬理学Ⅱ(各論)	1後	1			○		15	
		病理学Ⅰ(総論)	1前	1			○		15	
		病理学Ⅱ(各論)	1前	1			○		15	
		微生物学Ⅰ(総論)	1前	1			○		15	
		微生物学Ⅱ(各論)	1前	1			○		15	
		発達心理学	1前		1		○		15	
		臨床心理学	1後		1			○	30	
	健康と保健医療システム	健康論	1前		1		○		15	
		公衆衛生学Ⅰ(基礎)	2前	1			○		15	
		公衆衛生学Ⅱ(応用)	2後	1			○		15	
		疫学・保健統計Ⅰ(基礎)	3前		1		○		15	
		疫学・保健統計Ⅱ(応用)	3前		1		○		15	
		リハビリテーション概論	2後	1			○		15	
		救命・救急の理論と実際	2前	1			○		15	
保健医療福祉論Ⅰ(基礎)		2後	1			○		15		
保健医療福祉論Ⅱ(応用)		2後	1			○		15		
食育論Ⅰ(基礎)		3前	1			○		15		
食育論Ⅱ(応用)		3前		1		○		15		
健康と運動		1後		1		○		15		
家族社会学		1前		1		○		15		
医療経営管理論	4後		1		○		15			
リスクマネジメント論	2後		1		○		15			
専門科目	歯科衛生基礎	解剖学総論	1前	2			○		30	必修28単位
		生理学総論	1後	2			○		30	
		内科学概論	1後	1			○		15	
		高齢者医療論	2後	1			○		15	
		口腔解剖学	1前	2			○		30	
		口腔生理学	2前	1			○		15	
		口腔病理学	1後	1			○		15	
		口腔微生物学	1後	1			○		15	
		歯科薬理学	2前	1			○		15	
		歯科生化学・臨床検査法	1後	1			○		15	
		口腔衛生学	1後	2			○		30	
		歯科感染予防学	2後	1			○		15	
		歯科診断学	2後	1			○		15	
		歯科矯正学	3前	1			○		15	
		歯科材料学	2前	1			○		15	
歯科治療学Ⅰ(保存修復・歯内療法学)	2前	2			○		30			

(歯科衛生学科 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
専門科目	歯科衛生基礎	歯科治療学Ⅱ (歯周治療学)	2前	1			○		15	生涯歯科衛生及び歯科衛生健康推進から選択3単位	
		歯科治療学Ⅲ (歯科補綴学)	2前	2			○		30		
		顎口腔外科学	2前	2			○		30		
		顎口腔機能論	2前	1			○		15		
		歯科衛生基礎演習	2前	1				○	30		
	生涯歯科衛生	歯科衛生学概論	1前	2			○		30		必修 16単位
		チーム歯科医療論	2前	1			○		15		
		歯科疾患予防学	2前	1			○		15		
		発達歯科衛生学Ⅰ(小児)	2後	2			○		45		
		発達歯科衛生学Ⅱ(成人・高齢者)	2後	3			○		45		
		演習Ⅰ (歯科材料・歯科診療補助)	3前	2				○	60		
		演習Ⅱ (歯科予防処置)	3前	2				○	60		
		顎口腔機能リハビリテーション論	2後	1			○		15		
		演習Ⅲ (口腔機能リハビリテーション)	3前	1				○	30		
		在宅歯科衛生管理論Ⅰ	3前	1			○		15		
	在宅歯科衛生管理論Ⅱ	4前		1		○		15			
	歯科衛生健康推進	歯科衛生アセスメント論	3前	1			○		15		必修 11単位
		保健行動科学論	2前	1			○		15		
		歯科保健指導・健康教育論	2前	1			○		15		
		演習Ⅳ (歯科保健指導・カウンセリング)	2後～3前	3				○	90		
		歯科衛生統計学	3前	1			○		15		
		地域歯科衛生学	2後	1			○		15		
		演習Ⅴ (地域歯科衛生)	3前	1				○	30		
		国際歯科衛生学	3前		1		○		15		
		歯科医療管理論	4前		1		○		15		
		社会保障・社会保険論	3前	1			○		15		
	総合演習	3後	1				○	30			
	臨床・臨床実習	歯科診療室基礎実習	3前	2				○	90		必修22 単位
		歯科診療所実習	3後	4				○	180		
		病院実習	4後	3				○	135		
継続・個別支援実習		3後～4前	4				○	180			
発達歯科衛生実習Ⅰ (小児)		4前	2				○	90			
発達歯科衛生実習Ⅱ (成人・高齢者)		4前	2				○	90			
地域歯科衛生実習		4前	1				○	45			
歯科診療室総合実習		3後～4前	4				○	180			
研究	卒業研究	3後～4通		3			○	90			

先修条件

【特色科目（平成28年度入学生より適用する）】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「専門職間の連携活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県の健康づくり」の単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 歯科衛生基礎演習を履修するには、口腔微生物学、口腔衛生学の単位を修得済み、又は単位修得見込みであること。
- 2 演習Ⅰ（歯科材料・歯科診療補助）を履修するには、歯科材料学、チーム歯科医療論の単位を修得済みであること。
- 3 演習Ⅱ(歯科予防処置)を履修するには、歯科疾患予防学の単位を修得済みであること。
- 4 演習Ⅲ(口腔機能リハビリテーション)を履修するには、顎口腔機能論、顎口腔機能リハビリテーションの単位を修得済み、又は単位修得見込みであること。
- 5 演習Ⅳ(歯科保健指導・カウンセリング)を履修するには、歯科衛生アセスメント論、保健行動科学論、歯科保健指導・健康教育論の単位を修得済み、又は単位修得見込みであること。
- 6 演習Ⅴ(地域歯科衛生)を履修するには、地域歯科衛生学の単位を修得済みであること。
- 7 総合演習を履修するには、演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、演習Ⅳ、演習Ⅴすべての単位を修得済みであること。
- 8 歯科診療室基礎実習を履修するには、以下のア、イの条件を満たさなければならない。
ア 保健医療基礎科目及び専門科目のうち、2年次後期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。
イ 演習Ⅰ(歯科材料・歯科診療補助)の単位を修得済み、又は単位修得見込みであること。
- 9 歯科診療室基礎実習を除く臨床・臨地実習を履修するには、保健医療基礎科目及び専門科目のうち、3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 10 卒業研究を履修するには、原則として4年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済み、又は単位修得見込みであること。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	11単位	13単位	24単位
保健医療基礎科目	16単位	3単位	19単位
専門科目	77単位	3単位	80単位
合計	107単位	19単位	126単位

別表（リハビリテーション学科理学療法専攻 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目	体験ゼミナール	1前	1					○	45	必修3単位	
	千葉県の健康づくり	2後	1					○	30		
	専門職間の連携活動論	4後	1					○	30		
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45		
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4前		2			○		30	必修4単位
		哲学	1・2・3・4前		2			○		30	
		文学	1・2・3・4前		2			○		30	
		歴史と文化	1・2・3・4前		2			○		30	
		生命倫理	1・2・3・4後		2			○		30	
		宗教学	1・2・3・4後		2			○		30	
		教育学	1・2・3・4前		2			○		30	
		人間関係論	1・2・3・4前	2				○		30	
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4前	2				○		30	
		健康スポーツ科学	1・2・3・4前後		1				○	30	
	生涯身体運動科学	1・2・3・4前後		1				○	30		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4後		2			○		30	必修2単位 一般教養科目から選択12単位
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4前		2			○		30	
		社会学	1・2・3・4後		2			○		30	
		文化人類学	1・2・3・4前		2			○		30	
		経済学	1・2・3・4前		2			○		30	
		国際関係論	1・2・3・4後		2			○		30	
		社会福祉学	1・2・3・4前		1			○		15	
		国際的な健康課題	1・2・3・4後		1			○		15	
		人権・ジェンダー	1・2・3・4後		2			○		30	
		科学論	1・2・3・4前		2			○		30	
		環境変化と生態	1・2・3・4後		2			○		30	
		観察生物学入門	1・2・3・4前後		2			○		30	
		生物学	1・2・3・4前後		2			○		30	
	物理学	1・2・3・4前	2				○		30		
	化学	1・2・3・4前		2			○		30		
	情報理解群	統計学	1・2・3・4後		1				○	30	必修2単位
		情報リテラシーⅠ	1・2・3・4前	1					○	30	
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4後		1				○	30	
		情報倫理	1・2・3・4後	1				○		15	
		実践統計学	1・2・3・4後		1			○		15	
	外国語群	英語Ⅰ（講読）	1・2・3・4前		1				○	30	必修2単位 + 選択2単位
		英語Ⅱ（英会話）	1・2・3・4前		1				○	30	
英語Ⅲ（講読・記述）		1・2・3・4後		1				○	30		
英語Ⅳ（英語コミュニケーション）		1・2・3・4後		1				○	30		
英語Ⅴ（保健医療英語）		1・2・3・4前	2				○		30		
英語Ⅵ（応用英語）		1・2・3・4後		1				○	30		
英語Ⅶ（上級英語）A		2・3・4後		1				○	15		
英語Ⅶ（上級英語）B	2・3・4後		1				○	15			

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2前	1		○			15	必修10単位 + 選択2単位
		生化学総論	1前	1		○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1後	1		○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）	1後	1		○			15	
		心の健康	1後	1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1後	1		○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1後	1		○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1前	1		○			15	
		病理学Ⅱ（各論）	1前	1		○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1前	1		○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）	1前	1		○			15	
		発達心理学	1前	1		○			15	
		臨床心理学	1後	1			○		30	
	健康と保健医療システム	健康論	1前	1		○			15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2前	1		○			15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2後	1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3前	1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3前	1		○			15	
		リハビリテーション概論	1後	1		○			15	
		救命・救急の理論と実際	2前	1		○			15	
		画像診断学	2後	1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2後	1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2後	1		○			15	
		食育論Ⅰ（基礎）	3前	1		○			15	
		食育論Ⅱ（応用）	3前	1		○			15	
		健康と運動	1後	1		○			15	
		家族社会学	1前	1		○			15	
医療経営管理論	4後	1		○			15			
リスクマネジメント論	2後	1		○			15			
専門科目	リハビリテーション専門基礎科目	人体の構造Ⅰ（筋・骨・神経系の構造）	1前	1			○		30	必修25単位 + 選択1単位
		人体の構造Ⅱ（脈管・内臓・感覚器の構造）	1後	1			○		30	
		人体の構造実習	1後	1				○	45	
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	1前	1			○		30	
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	1後	1			○		30	
		人体の機能実習	2前	1				○	45	
		運動学Ⅰ（運動の基礎科学）	1後	1			○		30	
		運動学Ⅱ（応用的運動科学）	2前	1			○		30	
		運動学実習	2後	1				○	45	
		臨床運動学	2後	1			○		30	
		機能解剖学	1後	1			○		30	
		人間工学	2後	1	1		○		30	
		人間発達学	2前	1			○		30	
		医学総論	1後	1			○		15	
		内科学総論	2前	1			○		30	
		内科学各論	2後	1			○		30	
		神経内科学総論	2前	1			○		30	
		神経内科学各論	2後	1			○		30	

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019年度以降入学生用）

		整形外科学総論	2 前	1			○		30			
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習				
	整形外科学各論	2 後	1				○		30			
	精神神経科学総論	2 前	1				○		30			
	精神神経科学各論	2 後		1			○		30			
	臨床薬理学	2 後	1			○			15			
	老年科学	3 前	1				○		30			
	小児科学	3 前	1				○		30			
	臨床医学概論	3 前	1				○		30			
	リハビリテーション医学	3 前	1				○		30			
専門科目	理学療法専門基礎科目	理学療法概論	1 前	1				○		30	必修 20 単位	
		理学療法管理学	4 後	2			○			30		
		運動療法学	2 前	2			○			30		
		理学療法評価学 I	2 前	2			○			30		
		理学療法評価学演習	2 前	1				○		30		
		理学療法評価学 II (神経系)	2 後	1			○			15		
		理学療法評価学 III (統合・解釈)	2 後	1				○		30		
		理学療法評価学 IV (画像評価)	3 後	1			○			15		
		日常生活活動学	2 前	2			○			30		
		日常生活活動学演習	2 後	1				○		30		
	物理療法学	2 後	1			○			15			
	物理療法学演習	2 後	1				○		30			
	義肢装具学	3 前	2			○			30			
	義肢装具学演習	3 前	1				○		30			
	理学療法研究方法論	3 前	1				○		30			
	理学療法専門科目	運動器障害理学療法学	3 前	2			○			30		必修 22 単位 + 選択 1 単位
		運動器障害理学療法学演習	3 後	1				○		30		
		神経系障害理学療法学	3 前	2			○			30		
		神経系障害理学療法学演習	3 後	1				○		30		
		内部障害理学療法学	3 前	2			○			30		
内部障害理学療法学演習		3 後	1				○		30			
老年期障害理学療法学		3 前	2			○			30			
老年期障害理学療法学演習		3 後	1				○		30			
発達障害理学療法学		3 前	2			○			30			
発達障害理学療法学演習		3 後	1				○		30			
発達障害理学療法学特論	3 後		1		○			15				
地域理学療法学	3 前	2			○			30				
地域理学療法学演習	3 後	1				○		30				
理学療法技術論	4 後	1				○		30				
生体機能計測学	3 前		1			○		30				
理学療法応用評価学	3 後	1				○		30				
理学療法学特論 I (運動器・老年期)	3 後		1			○		30				
理学療法学特論 II (神経系・内部・地域)	3 後		1			○		30				

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019年度以降入学生用）

	発展領域論(がん・予防・臨床研究解析法)	4 後	2			○		30	
臨床実習	臨床体験実習	1 後	1				○	45	必修20単位
	評価実習	3 後	4				○	180	
	総合実習Ⅰ	4 前	7				○	315	
	総合実習Ⅱ	4 前	7				○	315	
	地域理学療法学実習	4 後	1				○	45	
研究	卒業研究	4 通	2			○		60	必修2単位

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習(ボランティア活動)」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 2年次配当の「リハビリテーション専門基礎科目」「理学療法専門基礎科目」を履修するには、1年次配当の「リハビリテーション専門基礎科目」および「理学療法概論」の単位を修得済みであること。
- 2 「評価実習」を履修するには、3学年前期までに開講するすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 3 「総合実習Ⅰ」、「総合実習Ⅱ」、「地域理学療法学実習」および「卒業研究」を履修するには、3学年後期までに開講するすべての必修科目の単位を修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に配当された専門科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	10単位	14単位	24単位
保健医療基礎科目	10単位	2単位	12単位
専門科目	89単位	2単位	91単位
合計	112単位	18単位	130単位

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
特色科目	体験ゼミナール	1前	1					○	45	必修3単位
	千葉県の健康づくり	2後	1					○	30	
	専門職間の連携活動論	4後	1					○	30	
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45	
人間理解群	心理学	1・2・3・4前	2					○	30	必修 2単位 + 選択 2単位 (※4)
	哲学	1・2・3・4前		2				○	30	
	文学	1・2・3・4前		2				○	30	
	歴史と文化	1・2・3・4前		2				○	30	
	生命倫理	1・2・3・4後		2				○	30	
	宗教学	1・2・3・4後		2				○	30	
	教育学	1・2・3・4前		2				○	30	
	人間関係論	1・2・3・4前		2				○	30	
	コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4前		2				○	30	
	健康スポーツ科学	1・2・3・4前後		1				○	30	
生涯身体運動科学	1・2・3・4前後		1				○	30		
生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4後		2				○	30	必修 2単位
	法学（日本国憲法）	1・2・3・4前		2				○	30	
	社会学	1・2・3・4後		2				○	30	
	文化人類学	1・2・3・4前		2				○	30	
	経済学	1・2・3・4前		2				○	30	
	国際関係論	1・2・3・4後		2				○	30	
	社会福祉学	1・2・3・4前		1				○	15	
	国際的な健康課題	1・2・3・4後		1				○	15	
	人権・ジェンダー	1・2・3・4後		2				○	30	
	科学論	1・2・3・4前		2				○	30	
	環境変化と生態	1・2・3・4後		2				○	30	
	観察生物学入門	1・2・3・4前後		2				○	30	
	生物学	1・2・3・4前後		2				○	30	
	物理学	1・2・3・4前	2					○	30	
化学	1・2・3・4前		2				○	30		
情報理解群	統計学	1後	1					○	30	必修 2単位
	情報リテラシーⅠ	1前	1					○	30	
	情報リテラシーⅡ	1・2・3・4後		1				○	30	
	情報倫理	1・2・3・4後		1				○	15	
	実践統計学	2・3・4後		1				○	15	
外国語群	英語Ⅰ(講読)	1・2・3・4前		1				○	30	必修 2単位 + 選択 2単位
	英語Ⅱ(英会話)	1・2・3・4前		1				○	30	
	英語Ⅲ(講読・記述)	1・2・3・4後		1				○	30	
	英語Ⅳ(英語コミュニケーション)	1・2・3・4後		1				○	30	
	英語Ⅴ(保健医療英語)	2前	2					○	30	
	英語Ⅵ(応用英語)	1・2・3・4後		1				○	30	
	英語Ⅶ(上級英語)A	2・3・4後		1				○	15	
	英語Ⅶ(上級英語)B	2・3・4後		1				○	15	

【一般教養科目】選択科目から選択12単位

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2前		1			○		15	必修9単位 + 選択1単位
		生化学総論	1前		1			○		15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1後	1				○		15	
		栄養学Ⅱ（応用）	1後		1			○		15	
		心の健康	1後		1			○		15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1後		1			○		15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1後		1			○		15	
		病理学Ⅰ（総論）	1前	1				○		15	
		病理学Ⅱ（各論）	1前		1			○		15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1前		1			○		15	
		微生物学Ⅱ（各論）	1前		1			○		15	
		発達心理学	1前		1			○		15	
		臨床心理学	1後	1					○	30	
	健康と保健医療システム	健康論	1前	1				○		15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2前		1			○		15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2後		1			○		15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3前		1			○		15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3前		1			○		15	
		リハビリテーション概論	1後	1				○		15	
		救命・救急の理論と実際	2前	1				○		15	
		画像診断学	2後	1				○		15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2後	1				○		15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2後	1				○		15	
リハビリテーション専門基礎科目	食育論Ⅰ（基礎）	3前		1			○		15		
	食育論Ⅱ（応用）	3前		1			○		15		
	健康と運動	1後		1			○		15		
	家族社会学	1前		1			○		15		
	医療経営管理論	4後		1			○		15		
	リスクマネジメント論	2後		1			○		15		
	人体の構造Ⅰ（筋・骨・神経系の構造）	1前	1					○	30		
	人体の構造Ⅱ（脈管・内臓・感覚器の構造）	1後	1					○	30		
	人体の構造実習	1後	1					○	45		
	人体の機能Ⅰ（動物性機能）	1前	1					○	30		
人体の機能Ⅱ（植物性機能）	1後	1					○	30			
人体の機能実習	2前	1					○	45			
体表解剖学	1後	1				○		15			
作業運動学Ⅰ（作業運動の基礎）	1後	1					○	30			
作業運動学Ⅱ（作業運動の応用）	2前	1					○	30			
作業運動学演習	2前	1					○	30			
作業運動学実習	2後	1					○	45			
作業分析学	2前		1			○		15			
人間工学	2後		1				○	30			
人間発達学	2前	1					○	30			
医学総論	1後	1				○		15			
内科学総論	2前	1					○	30			
内科学各論	2後	1					○	30			
神経内科学総論	2前	1					○	30			
神経内科学各論	2後	1					○	30			

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
	整形外科学総論	2前	1				○		30	
	整形外科学各論	2後	1				○		30	
	精神神経科学総論	2前	1				○		30	
	精神神経科学各論	2後	1				○		30	
	臨床薬理学	2後	1			○			15	
	老年科学	3前	1				○		30	
	小児科学	3前	1				○		30	
	臨床医学概論	3前	1				○		30	
	リハビリテーション医学	3前	1				○		30	
基礎作業療法学	作業療法概論	1前	1				○		30	必修6単位 + 選択2単位
	作業療法管理学	3後	2			○			30	
	作業療法基礎理論	2前		1			○		30	
	作業療法研究法	3前	1			○			15	
	基礎作業学・演習	1前	1				○		30	
	基礎作業学実習	1後	1					○	45	
	作業療法ゼミナールA	2後		1		○			15	
	作業療法ゼミナールB	2後		1		○			15	
	作業療法ゼミナールC	2後		1		○			15	
	作業療法ゼミナールD	2後		1		○			15	
	作業療法ゼミナールE	2後		1		○			15	
	作業療法ゼミナールF	2後		1		○			15	
専門科目	実践作業療法学	作業療法評価学総論	1後	1			○		15	必修29単位
		身体作業療法評価学	2前	1			○		15	
		身体作業療法評価学実習	2通	1				○	45	
		身体作業療法学Ⅰ	2後	2			○		30	
		身体作業療法学Ⅱ	2後	2			○		30	
		身体作業療法学演習	3前	1				○	30	
		精神作業療法評価学	2前	1			○		15	
		精神作業療法評価学実習	2通	1				○	45	
		精神作業療法学	2後	2			○		30	
		精神作業療法学演習	3前	1				○	30	
		発達期作業療法学	2後	1			○		15	
	発達期作業療法学演習	3前	1				○	30		
	老年期作業療法学	2後	1			○		15		
	老年期作業療法学演習	3前	1				○	30		
	高次神経機能作業療法学	2後	2			○		30		
	日常生活活動学	2後	1			○		15		
	日常生活活動学演習	3前	1				○	30		
	義肢装具学	3前	2			○		30		
	福祉機器論	3後	2			○		30		
	地域社会参加支援学	3前	1			○		15		
	地域社会参加支援学演習	3後	1				○	30		
	地域作業療法学	3前	2			○		30		
	作業療法総合演習	4通		1			○	30		
作業療法学特論A	4通		1			○	15			

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019年度以降入学生用）

	作業療法学特論 B	4通		1		○			15	
	作業療法学特論 C	4通		1		○			15	
	作業療法学特論 D	4通		1		○			15	
	作業療法学特論 E	4通		1		○			15	
	作業療法学特論 F	4通		1		○			15	
臨床 実習	臨床体験実習	1通	1					○	45	必修28単位
	評価実習Ⅰ	3通	4					○	180	
	評価実習Ⅱ	3通	4					○	180	
	総合実習Ⅰ	3後	8					○	360	
	総合実習Ⅱ	4前	8					○	360	
	地域作業療法学実習	4後	3					○	135	
研究	卒業研究	4通	1				○		30	必修1単位

※4 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」のどちらか1つは必ず選択して履修する。

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を履修するには、「評価実習Ⅰ」および「評価実習Ⅱ」の両科目の単位を修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たさなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目のすべての単位を修得済みであること。
- 2 1・2年次に配当された専門科目の必修科目のすべての単位を修得済みであること。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	8単位	16単位	24単位
保健医療基礎科目	9単位	1単位	10単位
専門科目	90単位	3単位	93単位
合計	110単位	20単位	130単位

(リハビリテーション学科作業療法学専攻 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
特色科目	千葉県の健康づくり	2 後	1				○		30	必修3単位
	体験ゼミナール	1 前	1					○	45	
	専門職間の連携活動論	4 後	1				○		30	
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前	2			○		30	必修 2単位 + 選択 2単位 (※4)
		哲学	1・2・3・4 前		2		○		30	
		文学	1・2・3・4 前		2		○		30	
		歴史と文化	1・2・3・4 前		2		○		30	
		生命倫理	1・2・3・4 後		2		○		30	
		宗教学	1・2・3・4 後		2		○		30	
		教育学	1・2・3・4 前		2		○		30	
		人間関係論	1・2・3・4 前		2		○		30	
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4 前		2		○		30	
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後		1			○	30	
	生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後		1			○	30		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後		2		○		30	必修 2単位
		法学(日本国憲法)	1・2・3・4 前		2		○		30	
		社会学	1・2・3・4 後		2		○		30	
		文化人類学	1・2・3・4 前		2		○		30	
		経済学	1・2・3・4 前		2		○		30	
		国際関係論	1・2・3・4 後		2		○		30	
		社会福祉学	1・2・3・4 前		1		○		15	
		国際的な健康課題	1・2・3・4 後		1		○		15	
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後		2		○		30	
		科学論	1・2・3・4 前		2		○		30	
		環境変化と生態	1・2・3・4 後		2		○		30	
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後		2		○		30	
		生物学	1・2・3・4 前後		2		○		30	
		物理学	1・2・3・4 前	2			○		30	
	化学	1・2・3・4 前		2		○		30		
	情報理解群	統計学	1・2・3・4 後	1				○	30	必修 2単位
情報リテラシー I		1 前	1				○	30		
情報リテラシー II		1・2・3・4 後		1			○	30		
情報倫理		1・2・3・4 後		1		○		15		
外国語群	英語 I (基礎講読)	1・2・3・4 前		1			○	30	必修 2単位 + 選択 2単位	
	英語 II (基礎英会話)	1・2・3・4 前		1			○	30		
	英語 III (講読・記述)	1・2・3・4 後		1			○	30		
	英語 IV (英会話)	1・2・3・4 後		1			○	30		
	英語 V (保健医療英語)	2 前	2			○		30		
	英語 VI (応用英語)	1・2・3・4 後		1			○	30		

【一般教養科目】選択科目から選択 12 単位

※4 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」のどちらかを選択して履修する。

(リハビリテーション学科作業療法学専攻 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2前	1		○			15	必修6単位 + 選択1単位
	生化学総論	1前	1		○			15		
	栄養学Ⅰ(基礎)	1後	1		○			15		
	栄養学Ⅱ(応用)	1後	1		○			15		
	心の健康	1後	1		○			15		
	薬理学Ⅰ(総論)	1後	1		○			15		
	薬理学Ⅱ(各論)	1後	1		○			15		
	病理学Ⅰ(総論)	1前	1		○			15		
	病理学Ⅱ(各論)	1前	1		○			15		
	微生物学Ⅰ(総論)	1前	1		○			15		
	微生物学Ⅱ(各論)	1前	1		○			15		
	発達心理学	1前	1		○			15		
	臨床心理学	1後	1			○		30		
健康と保健医療システム	健康論	1前	1			○		15		
	公衆衛生学Ⅰ(基礎)	2前		1		○		15		
	公衆衛生学Ⅱ(応用)	2後		1		○		15		
	疫学・保健統計Ⅰ(基礎)	3前		1		○		15		
	疫学・保健統計Ⅱ(応用)	3前		1		○		15		
	リハビリテーション概論	1後	1			○		15		
	救命・救急の理論と実際	2前		1		○		15		
	保健医療福祉論Ⅰ(基礎)	2後	1			○		15		
	保健医療福祉論Ⅱ(応用)	2後	1			○		15		
	食育論Ⅰ(基礎)	3前		1		○		15		
	食育論Ⅱ(応用)	3前		1		○		15		
	健康と運動	1後		1		○		15		
	家族社会学	1前		1		○		15		
医療経営管理論	4後		1		○		15			
リスクマネジメント論	2後		1		○		15			
専門科目	リハビリテーション専門基礎科目	人体の構造Ⅰ(筋・骨・神経系の構造)	1前	1			○		30	必修24単位 + 選択1単位
		人体の構造Ⅱ(脈管・内臓・感覚器の構造)	1後	1			○		30	
		人体の構造実習	1後	1				○	45	
		機能解剖学	1後		1			○	30	
		人体の機能Ⅰ(動物性功能)	1前	1			○		30	
		人体の機能Ⅱ(植物性功能)	1後	1			○		30	
		人体の機能実習	2前	1				○	45	
		作業運動学Ⅰ(作業運動の基礎)	1後	1			○		30	
		作業運動学Ⅱ(作業運動の応用)	2前	1			○		30	
		作業運動学実習	2後	1				○	45	
		作業運動分析学	2前	1			○		15	
		臨床運動学	2前		1			○	30	
		人間工学	2後		1			○	30	
		人間発達学	2前	1				○	30	
		医学総論	1後	1			○		15	
		内科学総論	2前	1				○	30	
		内科学各論	2後	1				○	30	
神経内科学総論	2前	1				○	30			
神経内科学各論	2後	1				○	30			

(リハビリテーション学科作業療法学専攻 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
専門基礎科目	整形外科学総論	2 前	1				○		30	
	整形外科学各論	2 後	1				○		30	
	精神神経科学総論	2 前	1				○		30	
	精神神経科学各論	2 後	1				○		30	
	老年科学	3 前	1				○		30	
	小児科学	3 前	1				○		30	
	臨床医学概論	3 前	1				○		30	
	リハビリテーション医学	3 前	1				○		30	
基礎作業療法学	作業療法概論	1 前	2			○			30	必修 7 単位 + 選択 1 単位
	作業療法管理学	3 後		1		○			15	
	作業療法基礎理論	2 前		1			○		30	
	作業療法研究法	3 後	1			○			15	
	基礎作業学・演習	1 前	1				○		30	
	基礎作業学実習	1 後	1					○	45	
	作業療法評価学概論	1 後	1			○			15	
	地域作業療法学概論	3 前	1			○			15	
専門科目 実践作業療法学	作業療法評価学Ⅰ(神経・心肺機能系)	2 前	2			○			30	必修 3 2 単位
	作業療法治療学Ⅰ(神経・心肺機能系)	2 後	2			○			30	
	作業療法学Ⅰ演習(神経・心肺機能系)	3 前	1				○		30	
	作業療法評価学Ⅱ(廃用・運動機能系)	2 前	2			○			30	
	作業療法治療学Ⅱ(廃用・運動機能系)	2 後	2			○			30	
	作業療法学Ⅱ演習(廃用・運動機能系)	3 前	1				○		30	
	作業療法評価学Ⅲ(精神・心理機能系)	2 前	2			○			30	
	作業療法治療学Ⅲ(精神・心理機能系)	2 後	2			○			30	
	作業療法学Ⅲ演習(精神・心理機能系)	3 前	1				○		30	
	作業療法評価学Ⅳ(認知・知能機能系)	2 前	2			○			30	
	作業療法治療学Ⅳ(認知・知能機能系)	2 後	2			○			30	
	作業療法学Ⅳ演習(認知・知能機能系)	3 前	1				○		30	
	日常生活活動技術学	3 前	2			○			30	
	日常生活活動技術学演習	3 後	1				○		30	
	日常生活活動援助学	3 前	2			○			30	
	日常生活活動援助学演習	3 後	1				○		30	
	社会的適応支援評価学	2 後	2			○			30	
	社会的適応支援学	3 前	2			○			30	
社会的適応支援学演習	3 後	1				○		30		
作業療法セミナー	3 前～4 前	1				○		30		
臨床実習	臨床体験実習	1 通	1				○		45	必修 2 7 単位
	評価実習Ⅰ	3 通	3				○		135	
	評価実習Ⅱ	3 通	3				○		135	
	総合実習Ⅰ	4 通	8				○		360	
	総合実習Ⅱ	4 通	8				○		360	
	地域作業療法学実習	4 通	3				○		135	
研究	卒業研究	4 通	1				○		30	

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	8単位	16単位	24単位
保健医療基礎科目	6単位	1単位	7単位
専門科目	90単位	2単位	92単位
合計	107単位	19単位	126単位

先修条件

【特色科目（平成28年度入学生より適用する）】

- 1) 「千葉県健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2) 「専門職間の連携活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県健康づくり」の両単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1) 「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を履修するには、すでに「評価実習Ⅰ」および「評価実習Ⅱ」の両科目の単位を修得していること。

千葉県立保健医療大学既修得単位の認定に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第40条第4項の規定により、既修得単位の認定に関し必要な事項を定める。

(既修得単位の認定科目)

第2条 既修得単位の認定は、原則として一般教養科目に限り行うことができるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、看護学科編入生は、保健医療基礎科目及び専門科目の一部を包括認定する。

3 看護学科編入生の既修得単位の認定に関する事項は、別に定める。

(単位認定の申請)

第3条 既修得単位の認定を受けようとする学生は、次の各号に掲げる書類を入学当初の指定の期日までに、学長に提出しなければならない。

(1) 既修得単位認定申請書（別記様式1）

(2) 卒業証明書又は在籍証明書

(3) 成績証明書

(4) 認定を受けようとする修得科目について、出身大学等が作成した授業科目の内容及び単位制度等単位の換算・認定に必要な書類

(単位の認定)

第4条 既修得単位の認定は、学長がこれを行う。

2 前項により認定された単位は、学則第48条第1項に定める単位に算入するものとする。

3 学長は、第1項の認定を行った場合には、教授会に報告しなければならない。

(修業年限)

第5条 既修得単位の認定による修業年限の短縮は行わないものとする。

(その他)

第6条 この規程に定めるもののほか、認定の事務手続等に関する事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成25年4月1日から施行する。

個別申請可能な一般教養科目

授 業 科 目		単 位 数	
		必修	選択
一 般 教 養 科 目	心理学		2
	哲学		2
	文学		2
	歴史と文化		2
	生命倫理		2
	宗教学		2
	教育学		2
	人間関係論		2
	コミュニケーション理論と実際		2
	健康スポーツ科学		1
	生涯身体運動科学		1
	生活とデザイン		2
	法学(日本国憲法)		2
	社会学		2
	文化人類学		2
	経済学		2
	国際関係論		2
	社会福祉学		1
	国際的な健康課題		1
	人権・ジェンダー		2
	科学論		2
	環境変化と生態		2
	観察生物学入門		2
	生物学		2
	物理学		2
	化学		2
	統計学	1	
	情報リテラシー I	1	
	情報リテラシー II		1
	情報倫理		1
	実践統計学		1
	英語 I (講読)		1
	英語 II (英会話)		1
	英語 III (講読・記述)		1
英語 IV (英語コミュニケーション)		1	
英語 V (保健医療英語)	2		
英語 VI (応用英語)		1	
英語 VII (上級英語) A		1	
英語 VII (上級英語) B		1	

包括認定科目

授 業 科 目		単 位 数	
		必修	選択
保健医療基礎科目	生化学総論	1	
	栄養学Ⅰ（基礎）	1	
	薬理学Ⅰ（総論）	1	
	薬理学Ⅱ（各論）	1	
	病理学Ⅰ（総論）	1	
	病理学Ⅱ（各論）	1	
	微生物学Ⅰ（総論）	1	
	微生物学Ⅱ（各論）	1	
	公衆衛生学Ⅰ（基礎）	1	
	公衆衛生学Ⅱ（応用）	1	
専門科目	人体の構造と機能Ⅰ（総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系）	1	
	人体の構造と機能Ⅱ（循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系）	1	
	人体の構造と機能Ⅲ（造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系）	1	
	病態学Ⅰ（内科系疾病論）	2	
	病態学Ⅱ（外科系疾病論）	2	
	病態学Ⅲ（高齢者・精神疾病論）	1	
	臨床検査論	1	
	看護学入門	1	
	看護学原論	1	
	看護技術論Ⅰ（生活援助技術）	2	
	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント技術）	1	
	看護技術論Ⅲ（検査治療技術）	2	
	看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	1	
	看護技術論Ⅴ（統合技術演習）	1	
	看護ふれあい体験学習	2	
	基礎看護学実習	2	
	臨床看護学方法論Ⅰ（急性期・がん）	2	
	臨床看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	2	
	臨床看護学方法論Ⅲ（臨床看護技術演習）	1	
	急性期看護学実習	2	
	慢性期看護学実習	3	
	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	1	
	高齢者看護学方法論Ⅱ	1	
	在宅看護学方法論Ⅱ	1	
	精神看護学方法論Ⅰ	1	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	
	高齢者看護学実習	3	
	在宅看護学実習	1	
	精神看護学実習	2	
	小児看護学方法論Ⅰ	1	
	小児看護学方法論Ⅱ	1	
	母性看護学方法論Ⅰ	1	
母性看護学方法論Ⅱ	1		
母性看護学実習	2		
小児看護学実習	2		

千葉県立保健医療大学看護学科編入生の既修得単位として認定する科目に関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、千葉県立保健医療大学既修得単位の認定に関する規程（以下「規程」という。）第2条第3項の規定により、看護学科編入生の既修得単位の認定に関し必要な事項を定める。

(既修得単位の認定範囲)

第2条 編入生の既修得単位の認定は、次の領域の授業科目及び単位数の範囲内で行う。

授 業 科 目	単位数
特色科目	0
一般教養科目	24
保健医療基礎科目	包括認定10
専門科目	包括認定51
合 計	85

2 別紙1に定める一般教養科目のうち単位認定を申請する科目は、規程第3条の規定により学生が個別に申請する。

3 別紙2に定める保健医療基礎科目及び専門科目は、すべて既修得として包括認定する。

附 則

この要項は平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項の改正は平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要項の改正は平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要項の改正は令和3年4月1日から施行する。

助産課程履修学生選考実施規程

(趣旨)

第1条 この規程は助産課程履修学生の選考に関し必要な事項を定めるものとする。

(助産課程履修申請のための履修要件)

第2条 助産課程の履修申請を行うには、次の各号の要件を満たしていなければならない。

- (1) 助産学概論及び助産診断・技術学Ⅰを履修し、単位を修得していること。
- (2) 体験ゼミナール及び千葉県健康づくりを履修し、単位を修得していること。
- (3) 卒業に必要な一般教養科目および保健医療基礎科目の単位を修得していること、または修得見込みであること。
- (4) 3年次前期までに開講される専門科目の必修科目を履修し、単位を修得していること。
- (5) 3年次後期に開講される専門科目の必修科目を単位修得見込みであること。

(定員)

第3条 履修定員は10名以内とする。

(履修者の選考)

第4条 履修申請者に対し、別に定める選考基準に基づき助産課程履修学生選考委員会において選考を実施し、学長が決定するものとする。

2 選考実施に際しての出願方法、選考方法等、その他具体的な必要事項については別に定める。

附 則

1 この要項は、平成23年4月1日から施行する。

2 第2条第3号及び第4号については、平成21年度及び22年度に入学した者には適用しない。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

助産課程履修学生選考委員会規程

(趣旨)

第1条 この規程は、助産課程履修学生選考委員会（以下「選考委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 選考委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 助産課程履修申請者の申請に関する事
- (2) 履修申請者の審査と履修学生の選考に関する事

(構成)

第3条 選考委員会は、次の各号に掲げる看護学科教員をもって構成する。

- (1) 育成支援領域母性看護学・助産学の教員 1名
- (2) 助産師課程指定規則「基礎助産学」「助産診断・技術学」「地域母子保健」に該当する科目担当の教員のうち1名
- (3) 看護学科教務委員 1名

(委員長)

第4条 選考委員会に委員長を1名おく。

- 2 委員長は、委員の中から互選により選出する。
- 3 委員長は、会議の議長となり、委員会の選考結果を看護学科教授会に提案する。

(補則)

第5条 この規程に定めるもののほか、選考委員会に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

千葉県立保健医療大学科目等履修生規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第53条の規定により、科目等履修生に関し必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第2条 科目等履修生として入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学則第26条各号のいずれかに該当する者
- (2) その他学長が特に認めた者

(入学の時期)

第3条 科目等履修生の入学の時期は、原則として学期の始めとする。

2 科目等履修生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、学長は、1年を超えない範囲で在学期間を延長することができる。

(出願手続)

第4条 科目等履修生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に入学検査料を添えて、学長に提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終出身校の卒業証明書及び学業成績証明書
- (4) その他学長が指定する書類

(選考)

第5条 前条の規定により入学を志願する者については、書類審査及び面接、又はそのいずれかにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第6条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに別に定める書類を提出するとともに、入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項の規定による入学手続を完了した者に対して、入学を許可する。

(履修手続)

第7条 科目等履修生は、履修を許可された科目の登録を指定の期日までに行わなければならない。

(授業料等)

第8条 科目等履修生は、使用料及び手数料条例（昭和三十一年千葉県条例第六号）の定めるところにより、履修する単位にかかる授業料を納付しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、履修に要する特別の費用は、科目等履修生の負担とする。

(履修科目)

第9条 科目等履修生が履修することができる授業科目は、原則として、講義科目とする。

2 科目等履修生は、授業科目を1年間に20単位まで履修することができる。ただし、演習、実験、実習又は実技科目については、履修することができない。

(単位の認定)

第10条 科目等履修生が授業科目を履修し、所定の試験に合格した場合は、単位の認

定を行うことができる。

2 学長は、科目等履修生の申出により、単位修得証明書を交付する。

(学則等の準用)

第11条 この規程に定めるもののほか、科目等履修生については、本学の学則及び諸規程のうち学部の学生に関するものを準用する。

(入学許可の取消し)

第12条 科目等履修生が学則若しくは諸規程に違反したとき、又は科目等履修生としての本分に反したときは、学長は、第6条第2項の規定による許可を取り消すことができる。

附 則

この規程は、平成21年7月6日から施行する。

千葉県立保健医療大学特別聴講学生規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第54条の規定により、特別聴講学生に関し必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第2条 特別聴講学生として本学に志願できる者は、本学と協議が成立した大学の長が推薦する学生とする。

(受入れの時期)

第3条 特別聴講学生の受入れの時期は、原則として学期の始めとする。

2 特別聴講学生の在学期間は、入学を許可された年度内とする。ただし、特別の理由があるときは、学長は、1年を超えない範囲で在学期間を延長することができる。

(出願手続)

第4条 特別聴講学生として志願する者（以下「志願者」という。）は、次の各号に掲げる書類を指定の期日までに学長に提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 所属大学の学長の推薦書
- (3) 履歴書
- (4) その他学長が指定する書類

(受入れの許可)

第5条 受入れの許可は、教授会の議を経て、学長が行う。

2 学長は、前項の規定による受入れを許可した者に対して、その所属大学の長を経由して、本人にその旨を通知する。

(履修手続)

第6条 特別聴講学生は、履修を許可された科目の登録を指定の期日までに行わなければならない。

(授業料等)

第7条 特別聴講学生は、学則第60条の規定により、履修する単位にかかる授業料を納付しなければならない。

2 実験、実習又は実技に要する経費は、必要に応じ特別聴講学生の負担とする。

第7条の2 本学と他大学との間において、特別聴講学生に係る授業料について相互に不徴収とする大学間協議が成立したときは、学長は、特別聴講学生からの申請により、学則第67条の規定により、当該学生の授業料を免除する。

2 前項の規定により、授業料の免除を受けようとする者は、授業料減免申請書（千葉県立保健医療大学授業料の減免の取扱いに関する規程別記第1号様式）を学長に提出しなければならない。

3 学長は、第1項の規定による授業料の免除を決定したときは、免除決定通知書（千葉県立保健医療大学授業料の減免の取扱いに関する規程別記第2号様式）により前項の申請者である学生に通知するものとする。

(履修科目)

第8条 特別聴講学生が履修することができる授業科目及び単位数は、本学と協議が成立した大学との協議の際に別に定める。

(単位の認定)

第9条 特別聴講学生が授業科目を履修し、所定の試験に合格した場合は、単位の認定を行うことができる。

2 学長は、特別聴講学生の申出により、単位修得証明書を交付する。

(学則等の準用)

第10条 この規程に定めるもののほか、特別聴講学生については、本学の学則及び諸規程のうち学部の学生に関するものを準用する。

(許可の取消し)

第11条 特別聴講学生が学則若しくは諸規程に違反したとき、又は特別聴講学生としての本分に反したときは、学長は、第5条の規定による許可を取り消すことができる。

附 則

この規程は、平成22年1月4日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

千葉県立保健医療大学聴講生規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第55条の規定により、聴講生に関し必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第2条 聴講生として入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 学則第26条各号のいずれかに該当する者
- (2) その他学長が特に認めた者

(入学の時期)

第3条 聴講生の入学の時期は、原則として学期の始めとする。

- 2 聴講生の在学期間は、1年内とする。ただし、特別の理由があるときは、学長は、1年を超えない範囲で在学期間を延長することができる。

(出願手続)

第4条 聴講生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に入学検査料を添えて、学長に提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終出身校の卒業証明書及び学業成績証明書
- (4) その他学長が指定する書類

(選考)

第5条 前条の規定により入学を志願する者については、書類審査及び面接、又はそのいずれかにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第6条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに別に定める書類を提出するとともに、入学料を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の規定による入学手続を完了した者に対して、入学を許可する。

(履修手続)

第7条 聴講生は、履修を許可された科目の登録を指定の期日までに行わなければならない。

(授業料等)

第8条 聴講生は、履修する単位にかかる授業料を納付しなければならない。

- 2 前項に定めるもののほか、履修に要する特別の費用は、聴講生の負担とする。

(履修科目)

第9条 聴講生が履修することができる授業科目は、原則として、講義科目とする。

- 2 聴講生は、演習、実験、実習又は実技科目については、履修することができない。

(学則等の準用)

第10条 この規程に定めるもののほか、聴講生については、本学の学則及び諸規程のうち学部の学生に関するものを準用する。

(入学許可の取消し)

第11条 聴講生が学則若しくは諸規程に違反したとき、又は聴講生としての本分に反したときは、学長は、第6条第2項の規定による許可を取り消すことができる。

附 則

この規程は、平成21年7月6日から施行する。

千葉県立保健医療大学研究生規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第57条の規定により、研究生に関し必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第2条 研究生として入学することができる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 4年制の保健医療系の大学を卒業した者
- (2) 研究事項について、前号と同等以上の学力があると認められた者

(入学の時期)

第3条 研究生の入学の時期は、原則として学年の始めとする。

2 研究生の在学期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、学長は、在学期間を延長することができる。

(出願手続)

第4条 研究生として入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類に入学検査料を添えて、学長に提出しなければならない。

- (1) 入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 最終出身校の卒業証明書及び学業成績証明書
- (4) その他学長が指定する書類

(選考)

第5条 前条の規定により入学を志願する者については、書類審査及び面接、又はそのいずれかにより選考を行う。

(入学手続及び入学許可)

第6条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、指定の期日までに別に定める書類を提出するとともに、使用料及び手数料条例（昭和三十一年千葉県条例第六号）の定めるところによる入学料を納付しなければならない。

2 学長は、前項の規定による入学手続を完了した者に対して、入学を許可する。

(指導教員)

第7条 教授会は、研究生の指導教員を定めるものとする。

(授業料等)

第8条 研究生は、研究期間中の授業料を納付しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、実験、実習又は実技に要する経費は、必要に応じ研究生の負担とする。

(施設等の利用)

第9条 研究生は、指導教員の承諾を得て研究に要する施設及び設備を利用することができる。

(授業科目の受講)

第10条 指導教員は、研究生に対する指導上必要と認めるとき、又は研究生が特定の授業科目の受講を申し出たときは、当該授業科目の担当教員との協議に基づき、他の学生の教育に支障のない範囲において、研究生に受講させることができる。

(研究報告)

第11条 研究生は、研究期間が終了するときまでに、研究報告書を指導教員を経て、学長に提出しなければならない。

(学則等の準用)

第12条 この規程に定めるもののほか、研究生については、本学の学則及び諸規程のうち学部の学生に関するものを準用する。

(入学許可の取消し)

第13条 研究生が学則若しくは諸規程に違反したとき、又は研究生としての本分に反したときは、学長は、第6条第2項の規定による許可を取り消すことができる。

附 則

この規程は、平成22年1月4日から施行する。

千葉県立保健医療大学研修生規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第56条の規定により、研修生に関し必要な事項を定めるものとする。

(受入れの時期)

第2条 研修生の受入れの時期は、原則として学年の始めとする。

2 研修生の研修期間は、1年以内とする。ただし、特別の理由があるときは、学長は、研修期間を延長することができる。

(出願手続)

第3条 研修生を派遣しようとする者は、次の各号に掲げる書類を指定の期日までに学長に提出しなければならない。

- (1) 研修生推薦書
- (2) 本人の履歴書
- (3) 本人の最終出身校の卒業証明書及び学業成績証明書
- (4) その他学長が指定する書類

(受入れの許可)

第4条 受入れの許可は、教授会の議を経て、学長が行う。

2 学長は、前項の規定による受入れを許可した者に対して、大学その他の団体の長を経由して、本人にその旨を通知する。

(指導教員)

第5条 教授会は、研修生の指導教員を定めるものとする。

(研修料等)

第6条 研修生は、研修期間中の研修料を納付しなければならない。

2 前項に定めるもののほか、実験、実習又は実技に要する経費は、必要に応じ研修生の負担とする。

(施設等の利用)

第7条 研修生は、指導教員の承諾を得て研修に要する施設及び設備を利用することができる。

(修了証明書)

第8条 学長は、研修生が研修を修了したときは、修了証明書を交付することができる。

(学則等の準用)

第9条 この規程に定めるもののほか、研修生については、本学の学則及び諸規程のうち学部の学生に関するものを準用する。

(許可の取消し)

第10条 研修生が学則若しくは諸規程に違反したとき、又は研修生としての本分に反したときは、学長は、第4条の規定による許可を取り消すことができる。

附 則

この規程は、平成22年1月4日から施行する。

千葉県立保健医療大学転入学に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第31条第2項の規定により、本学へ転入学するに際しての必要な事項を定める。

(時期)

第2条 転入学する時期は、学年の始めとする。ただし、転入学者に自然災害等の特別な事情がある場合は、その限りでない。

(出願)

第3条 転入学を志願する者は、志願先学科・専攻に欠員がある場合に限り出願することができる。ただし、志願先学科・専攻が特に認める場合は、この限りでない。

2 転入学を志願する者は、次の各号に掲げる書類を所定の期日までに学長に提出しなければならない。

(1) 転入学願（別記様式）

(2) 現に在籍する大学発行の在学証明書及び成績証明書

(選考)

第4条 転入学出願者の選考は、出願者の既履修科目とその成績、入学時の成績等に基づいて、志願先の学科・専攻が面接等によって行う。

(学年)

第5条 転入学する学年は、志願者の在籍大学での履修状況等を勘案し、志願先学科・専攻において決定する。

(許可)

第6条 転入学の許可は、教授会の議を経て、学長が行う。

(既修得単位の認定)

第7条 転入学を許可された者の既修得単位の認定は、学長がこれを行う。

2 前項により認定された単位は、学則第48条第1項に定める単位に算入するものとする。

3 学長は、第1項の認定を行った場合は、教授会に報告しなければならない。

(その他)

第8条 この規程に定めるもののほか、出願に係る手続きや試験を行う場合の実施方法、既修得単位の認定対象とする科目及びその履修、認定の手続き等に関する事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

(別記様式)

転入学願

年 月 日

千葉県立保健医療大学長 様

在籍大学名 _____

学科名・学年 _____ (年次)

志願者氏名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

下記のとおり転入学を許可されるようお願い出ます。

記

1 志願学科・専攻名

_____ 学科 (_____ 専攻)

2 転入学希望年月日 _____ 年 月 日

3 転入学を志望する理由

.....
.....
.....
.....

(注) 「学生氏名」欄は学生本人が、「保証人氏名」欄は保証人本人が、それぞれ自署の上押印すること。

(注) 現に在籍する大学発行の在学証明書及び成績証明書を添付すること。

千葉県立保健医療大学転学科及び転専攻に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則第32条の規程に基づき、転学科及び転専攻（以下「転学科等」という。）の取扱いに関し必要な事項を定めるものとする。

(要件)

第2条 転学科等は、次に掲げる要件のすべてを満たす場合に限り、許可することができる。

- (1) 出願時に本学に在籍していること。
- (2) 本学において転学科等の許可を受けたことがないこと。
- (3) 転学科等を志願する相当の理由があると認められること。
- (4) 志願先の学科(専攻)の入学者と同等以上の学力を有し、かつ、志願先のアドミッションポリシーに合った修学能力を有すると認められること。
- (5) 志願先に関して、定員、施設、設備等を勘案して受入可能と認められること。

(出願)

第3条 転学科等を志願する学生は、別に定める期日までに「転学科及び転専攻願（別記様式1）」を学長に提出しなければならない。

(選考)

第4条 転学科等の出願者の選考は、志願先の学科(専攻)が行う。

- 2 前項の選考の方法は志願先の学科（専攻）が定める。
- 3 志願先の学科（専攻）は選考の結果を教授会に諮らなければならない。

(許可)

第5条 転学科等の許可は、教授会の議を経て、学長が行う。

(時期)

第6条 転学科等の時期は、学年の始めとする。

(転学科等を許可された者の修得済みの科目等の認定)

第7条 転学科等の許可前に修得した科目及びその認定については、教授会の議を経て、学長が行う。

(転学科等を許可された者の受入年次)

第8条 転学科等を許可された者の受入年次は1年次とする。

(その他)

第9条 この規程に定めるもののほか、転学科等に関する事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成22年1月4日から施行する。

転学科及び転専攻願

令和 年 月 日

千葉県立保健医療大学長 様

学部名 _____

学科（専攻）名 _____

学籍番号 _____

氏 名 _____ 印

保証人氏名 _____ 印

私は、次により転学科(専攻)したいので、許可して下さるようお願いいたします。

1. 志願先学科(専攻)名

2. 転学科(専攻)を志願する理由

別紙のとおり

3. 現在所属する学科(専攻)長の承諾（押印又は自署）

_____ 印

放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第38条第3項の規定により、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定に関し必要な事項を定める。

(修得単位の認定科目)

第2条 修得単位の認定は、本学が指定する放送大学の授業科目に限り行うことができる。

(単位認定の申請)

第3条 放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定を受けようとする学生は、次の各号に掲げる書類を所定の期日までに学長に提出しなければならない。

- (1) 放送大学との単位互換協定に基づく修得単位認定申請書（別記様式1）
- (2) 放送大学発行の成績通知書

(単位の認定)

第4条 放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定は、学長がこれを行う。

- 2 前項により認定された単位は、学則第48条第1項に定める単位に算入するものとする。
- 3 学長は、第1項の認定を行った場合は、教授会に報告しなければならない。

(その他)

第5条 この規程に定めるもののほか、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定対象とする科目及びその履修、認定の手続き等に関する事項は別に定める。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

放送大学との単位互換協定に基づく修得単位認定申請書

年 月 日

千葉県立保健医療大学長 様

年度入学

学科(専攻)

学籍番号

氏 名

私は、下記のとおり放送大学授業科目の修得単位の認定を受けたいので、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定に関する規程第3条の規定により、必要書類を添えて申請します。

記

修得科目名	単位数
(卒業要件に含まれる科目)	
(卒業要件に含まれない科目)	

添付書類

放送大学発行の成績通知書

放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定に関する規程施行細則

(目的)

第1条 この細則は、放送大学との単位互換協定に基づく修得単位の認定に関する規程第5条の規定により、放送大学の授業科目の履修及び修得単位の認定に関し必要な事項を定める。

(出願手続き)

第2条 放送大学の授業科目の履修を希望する者（以下「履修希望者」という。）は、所定の期間内に放送大学指定の出願票を学生支援課に提出しなければならない。なお、出願後の履修科目の追加・変更は一切認めない。

(入学手続き及び授業料)

第3条 履修希望者は、出願後、放送大学から送付される受入通知に基づき、各自で所定の入学手続きを行わなければならない。

2 放送大学の授業科目の履修には、1科目（2単位）当たり11,000円の授業料を必要とする。履修希望者は、放送大学から送付される振込用紙により、速やかに授業料を納めなければならない。

(学生の身分)

第4条 学生の身分は、放送大学の特別聴講学生として放送大学から学生証が発行される。

(履修科目)

第5条 履修できる科目は、別に定める。

(履修登録)

第6条 履修希望者は、本学の履修登録期間中に本学の履修登録システム上で、出願した放送大学の授業科目を履修登録しなければならない。

2 本学履修規程第3条第3項の規定による履修登録単位数の上限設定に、放送大学の授業科目も含むものとする。

(受講方法)

第7条 放送大学の授業は、放送大学が提供する方法で受講するものとする。なお、この方法で受講できない場合には、DVDの貸出制度があるので、希望者は学生支援課に申し出る。

(放送大学の単位認定試験)

第8条 放送大学の単位認定試験は、放送大学が定める期間と方法により実施される。

2 放送大学の単位認定試験の日程が本学の授業や定期試験の日程と重複した場合には、

願い出により、本学の授業や定期試験について補講、追試験等の措置をとることができる。

(単位の認定)

第9条 放送大学で修得した科目は、本学開設科目に読み替えることなく、放送大学の科目名称と単位数を用い、成績の表記を下表のとおり本学の表記に読み替えて認定するものとする。

(表) 放送大学の成績表記と本学の成績表記の対応

区分	放送大学の表記	本学の表記
合格	マル A (100～90 点)	S (100～90 点)
	A (89～80 点)	A (89～80 点)
	B (79～70 点)	B (79～70 点)
	C (69～60 点)	C (69～60 点)
不合格	D (59～40 点)	D (59 点以下)
	E (39～ 0 点)	

附 則

この細則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この細則の改正は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この細則の改正は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この細則の改正は、令和4年4月1日から施行する。

千葉県立保健医療大学GPA制度に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学履修規程第11条の規定により、千葉県立保健医療大学（以下「本学」という。）における Grade Point Average（履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。）制度に関し必要な事項を定め、明確で客観的な総合的成績評価を示すことにより、学生の自主的な学修を維持し促進する仕組みを構築するとともに、大学教育の質の確保に資することを目的とする。

(GPの算定)

第2条 学生が履修した授業科目の Grade Point（以下「GP」という。）の算定にあたっては、成績評点を直接算定する functional GPA 方式を採用し、計算式は次のとおりとする。

$$GP = \frac{(100\text{点満点の成績評点} - 55)}{10}$$

2 成績評点が59点以下の授業科目のGPは0とする。

(GPAの種類と算定)

第3条 各学期のGPA（以下「学期GPA」という。）及び累計のGPA（以下「累計GPA」という。）は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第二位の値を四捨五入するものとする。

$$\text{学期GPA} = \frac{(\text{当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数})\text{の総和}}{\text{当該学期の履修科目の総単位数}}$$

$$\text{累計GPA} = \frac{(\text{全学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数})\text{の総和}}{\text{全学期の履修科目の総単位数}}$$

(GPAの対象科目・除外科目等)

第4条 各学科・専攻で開講する授業科目のうち、卒業要件に算入できるすべての授業科目をGPAの算定対象科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる各号に該当する場合は、GPA算定の対象外とする。

- (1) 千葉県立保健医療大学学則第38条から第40条までの規定により、本学において単位認定された科目
- (2) 本規程第5条により履修登録取消を行った科目
- (3) その他本学が特に定める科目

(履修登録取消制度)

- 第5条 GPAの対象科目について、履修登録をした授業科目であっても、受講目的が達成されないなどの理由から、別に定める履修取消期間内に限り、履修登録を取り消すことができる。なお、履修登録取消対象科目は、前期後半科目及び後期後半科目とする。
- 2 履修取消期間内に取消手続きを行わない場合は、履修登録科目のすべてが成績評価及びGPAの算定の対象となり、履修を放棄した授業科目は不合格となる。
 - 3 第1項の規定にかかわらず、履修取消期間前に全ての授業回を終える授業科目については、履修取り消しをすることができない。
 - 4 第1項の規定にかかわらず、休学、傷病等のやむを得ない事由で学生から履修取消申請のあった授業科目については、教務委員会での議を経たのち、履修取消期間以降において履修を取り消すことができる。

(再履修)

- 第6条 不合格と評価されたのちに再履修によって合格し、単位を修得した授業科目については、再履修によって得た成績評点及び単位数をGPAの算定に算入するとともに、当該科目について過去に得た不合格の成績評点もGPAの算定に算入する。

(成績証明書への記載)

- 第7条 各学期の成績発表日に学期GPA及び累計GPAを通知する。
- 2 学期GPA及び累計GPAは、成績証明書に記載する。
 - 3 本学卒業後に発行する成績証明書には、累計GPAを記載する。

(その他)

- 第8条 この規程に定めるもののほか、GPAに関し必要な事項は、教務委員会の議を経て別に定める。

附則

- 1 この規程は、平成31年4月1日から施行し、2019年度以降の入学生及び2021年度以降の3年次編入生から適用する。
- 2 この規程施行の際、前日から引き続き在学する者及び2019年度以降に再入学する者については、なお従前の例による。
- 3 この細則の改正は、令和4年4月1日から施行する。